第42回国民体育大会秋季大会

バドミントン



- 期日　昭和62年10月26日（月）～10月29日（木）
- 会場　糸満市西崎総合体育館
- 主催　財団法人　日本体育協会・文部省・沖縄県・糸満市
- 主管　財団法人　日本バドミントン協会

（日体協マーク）

国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第２回大会から使用されることになった。30度右傾斜の赤色の火炎を直径10分の１幅の紺青色の円帯で囲んである。

アマチュアスポーツマンのあり方

（「日本体育協会スポーツ憲章」抜粋）

- スポーツを愛し、楽しむために、自発的に行う。
- 競技規則はもとより、自らの属する団体の規則を遵守し、フェアプレーに終始する。
- 常に相手を尊重しつつ、自己の最善を尽くす。
- スポーツを行うことによって自らの物質的利益を求めない。
- スポーツによって得た名声を、自ら利用しない。

競　技　会　場



第42回国民体育大会シンボルマーク・テーマ・スローガン・マスコット

シンボルマーク



海と太陽につちかわれた沖縄県の文化を象徴し、21世紀に向かってはばたく県民の情熱と友情、平和の心をあらわしたものである。

テーマ

海邦国体

沖縄は海とのかかわりあいの歴史を重ねて来た。海ははかりしれない宝を秘め、海上の道は文化交流のシルクロードであった。それゆえに、われわれの父祖は「船をもって万国への架け橋」となし、国際性豊かな人材を育成した。
海邦国体は、この自然と歴史の流れを背景に、更に洋々たる創造への誓いをこめて名づけたものである。

スローガン

きらめく太陽 ひろがる友情

沖縄の太陽は、めくるめくほど鮮烈である。この清(ちゅ)らさのなかで、きらめく友情の輪をひろげよう。豊かで、おおきな輪を——。

マスコット



県の天然記念物にも指定されている「ヤンバルクイナ」を素材に、制作されたものです。
愛称は、県内の幼稚園児、小中学生より公募して「クイクイ」と名付けられました。

目　次

あいさつ・歓迎のことば …… 1

※ 役員・係員・補助員

競技会役員 …… 5
競技役員 …… 7
競技補助員 …… 9
競技会係員 …… 10
競技会補助員 …… 13
協力団体 …… 14

※ 規程

天皇杯・皇后杯授与規程 …… 15
大会会長トロフィー授与規程 …… 16

※ 式典

開始式・表彰式次第 －諸会議日程－ …… 17
大会歌「若い力」 …… 19
沖縄県民の歌 …… 20
糸満市民の歌 …… 21
式典会場図 …… 22

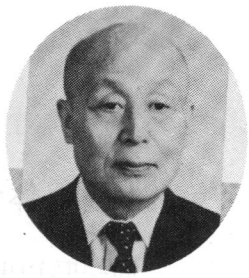
※ 競技

競技日程 …… 24
組み合せ表 …… 26
練習会場使用日程表 …… 28
競技の見方 …… 29
競技成績の採点方法 …… 35
都道府県参加人員一覧表 …… 36
出場監督・選手一覧表 …… 37
総合成績一覧表 …… 49

※ 資料

過去の成績一覧表 …… 51
競技記録 …… 64
糸満市会場案内図 …… 65
西崎運動公園会場配置図 …… 66
競技会場配置図 …… 67
練習会場図 …… 69
(財) 日本体育協会・文部省・都道府県本部宿舎一覧表 …… 71
役員・監督・選手宿舎一覧表 …… 73
宿舎案内図 …… 77
交通案内図 …… 79
競技会関係電話番号一覧表 …… 80
医療救護について …… 81
夏・秋季大会競技別会場地一覧図 …… 84

あいさつ



財団法人　日本バドミントン協会
会長　桜　内　義　雄

第42回国民体育大会バドミントン競技会の開催にあたり、ひと言ごあいさつを申し上げます。

昭和21年、京阪神地方で開催されました第一回大会を皮切りに、各県持ち回りで進められたこの大会も、今回で42回を数え、この沖縄県で一巡目の最後を飾ることになりましたことは、誠に感慨深いものがあります。

当初、この大会は、細々と、終戦直後の混乱の中で始まりましたが、年々その規模を拡大し、競技も次第に国民のあいだに普及し、若年者から高齢者層、又、家庭婦人の方々の中にまで着実に底辺が拡がって参りました。

本大会の主旨が「国民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、明るい豊かな生活の実現」であることを鑑みるに、バドミントン競技のめざましい進展は、誠に欣ばしいかぎりであります。

さらには、５年後のオリンピックからは正式競技となり、わが国内を問わず、バドミントン競技のいっそうの発展が期待されます。

このような時期に、本大会に参加される選手の皆さんには、スポーツマン精神のもと、日頃培われた力と技を遺憾なく発揮され、立派な成果をあげられますよう希望いたします。

おわりに、大会開催にあたり、準備万端お世話下さいました沖縄県ならびに地元糸満市の関係各位に対し、心から厚く御礼申し上げて、あいさつと致します。

歓迎のことば



第42回国民体育大会沖縄県実行委員会会長

沖縄県知事　西　銘　順　治

南国の輝く太陽、紺碧の海、亜熱帯の鮮烈な自然に囲まれたここ沖縄県に、天皇陛下の御名代として皇太子明仁親王殿下並びに同妃殿下の御臨席を仰ぎ、全国各地から多数の選手・役員の皆様をお迎えして、第42回国民体育大会秋季大会が盛大に開催できますことは、120万県民にとりまして、この上もない喜びであり、心から歓迎を申し上げます。

私たちは、このたびの国民体育大会を開催するに当たり、美しい自然の海とその歴史の流れを背景に、更に洋々たる創造への誓いをこめて、テーマを「海邦国体」、スローガンを「きらめく太陽ひろがる友情」とし、さらに、この大会を、全国一巡の締めくくりとともに、復帰15周年記念として位置づけ、質素な中にも心のこもった国体をめざし、県民挙げて諸準備を進めてまいりました。

どうか選手の皆様には、日ごろ培われた力と技を十二分に発揮され、栄えある郷土の代表として、立派な成果をあげられますよう祈念いたします。

本県が、長い苦難の歴史を乗り越え、今日のように目ざましい発展をとげてまいりましたことは、全国の皆様の深い御理解と温かい御支援の賜であり、この機会をかりてお礼を申し上げます。

なお、この機会に本県の美しい自然とあたたかい人情、さらには、豊かな伝統文化にも接していただき、いつまでも心に残る『海邦国体』にしていきたいと願っております。

終わりに、本大会の開催に当たって、関係各位から寄せられました多大な御支援と御協力に対し、厚くお礼を申し上げ歓迎の言葉といたします。

歓迎のことば



第42回国民体育大会糸満市実行委員会会長

糸満市長　下　門　律　善

全国各地から多数のご来賓、役員、選手の皆様をお迎えし、第42回国民体育大会・バドミントン競技が、ここ南国沖縄・糸満市において盛大に開催できますことは、誠に喜ばしい限りであり、48,000市民と共に心から歓迎申し上げます。

海邦国体は全国を一巡するしめくくりであると同時に、本県にとりまして本土復帰15周年の節目を記念する極めて意義ある祭典であり、その成功を念じ、市民の総力を挙げて諸準備をすすめてまいりました。

どうか選手の皆様には、郷土の栄誉とスポーツの栄光のため、日頃鍛えた力と技を遺憾なく発揮され、すばらしい競技が展開されますよう期待しております。

当糸満市は沖縄本島の最南端に位置し、恵まれた自然を生かして豊かな環境をつくり、住む人も訪れる人も心なごめるまちづくりをすすめております。

なかでも、沖縄戦終焉の地・沖縄戦跡国定公園には各都道府県の慰霊の塔が建立されており、県内外から多くの参拝客や観光客が訪れています。

皆様には、この機会にみ霊のご冥福と世界の恒久平和を祈念すると共に、市民との親善交流を深められ、生涯のよい想い出となりますよう念願してやみません。

終りに、本大会の開催にあたり、格別なるご支援ご指導を賜りました競技団体をはじめ、関係団体、ならびに先催地各位に対し、心より感謝とお礼を申し上げ歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



沖縄県バドミントン協会

会長　稲福盛輝

高く澄みきった青空の下、紺碧の海に囲まれた沖縄本島最南端地・糸満市において、海邦国体第42回国民体育大会バドミントン競技大会を、全国各地から選ばれた精鋭の選手、役員の皆様をお迎えして盛大に開催できますことは、沖縄県バドミントン協会にとりまして、この上もない喜びであり、心から歓迎申し上げます。

選手の皆様には、スポーツの精神にのっとり、日頃精進練磨されました力と技を十分に発揮なされ、海邦国体が終生の良き思い出となるすばらしい大会となりますよう切望してやみません。

さて、糸満市はかって世界の海に雄飛し、今は南方漁業への中継基地として、また今次大戦後の戦跡国定公園で全国に知れわたっております。どうか皆様には、この機会に沖縄の美しい自然と豊かな人情に接していただき、友情を通してお互いの親睦の輪を全国に広げられることを期待申し上げます。

本大会の開催にあたりまして格別のご尽力とご指導を賜わりました日本バドミントン協会をはじめ、糸満市並びに関係者各位からお寄せいただいた絶大なるご支援・ご協力に厚くお礼申し上げるとともに、ご参加の皆様のご健闘をお祈りいたします。

競技会役員

（順　不　同）

名誉会長	下門律善				
会長	桜内義雄				
副会長	真藤　恒	柳川覚治	新垣　博	稲福盛輝	
	上原清次				
顧問	石渡俊一	岩崎純三	奥田敬和	北口　博	
	沓掛哲男	倉田寛之	柴田勝治	嶋崎　均	
	関谷勝嗣	地崎宇三郎	内藤　健	永末英一	
	西村尚治	林　義郎	森　喜朗	山崎武三郎	
	渡辺秀央	地崎昭宇	清藤六郎	佐々木洋平	
	森　康	鈴木辰雄	板垣隆房	布引修二	
	阿久津順一	日野貞夫	大須田良作	須田勝勇	
	玉手庸	大山　茂	原　二三雄	吉川芳男	
	中村伝	清水規矩雄	岡田尚壮	大永武二	
	西澤鉄太郎	後藤　淳	野呂昭彦	神谷一三	
	栗本藤四郎	永末英一	岸　久雄	今井鎮雄	
	藤田庸右	坂口常博	今村時男	成相安信	
	石田祥史	天野辰雄	池上　任	俊成　薫	
	結城健輔	四島　司	小原嘉文	鈴田正武	
	八木繁尚	脇屋長可	相澤尚夫	上原賢一	
	大木与志郎				
参与	伊沢三郎	今井　先	川端昇市	小宮惇宏	
	高倉正治	宮澤宏之	新垣梅三	新垣哲司	
	上原政雄	稲嶺盛忠	上原　博	国仲　徹	
	大城英幸	長嶺徳助	玉城光蔵	上原一元	
	長嶺　昇	金城正則	上原宜成	玉城和信	
	波平一男	名嘉真朝英	玉城ノブ子	伊敷泰男	
	神谷英一	大城康伸	山城昭次郎	幸地　功	
	浦崎豊子	玉城繁雄	東江光野	伊敷　健	
	玉城弘英	山城政治	上原聡一	島袋仁栄	

屋嘉比　柴　文　　上　原　浩　一　　玉　江　光　英　　山　里　朝　盛
金　城　重　雄　　比　嘉　幸　信　　大　城　良　正　　山　内　昌　豊
永　山　満　雄　　新　垣　幸　道　　徳　元　孝　進　　友　利　一　彦
真栄里　美　保　　国　場　幸　輝　　平　山　　良　　與　崎　利　雄
新　垣　栄　蔵　　玉　城　光　栄　　伊　礼　信　子　　島　袋　幹　雄
山　城　幸　吉　　宮　里　秀　一　　喜　納　兼　永　　上　原　正二郎
長　嶺　栄　一　　仲　原　　繁　　運　天　政　雄　　大　城　敏　一
山　城　正　助　　中　村　義　清　　大　城　長　成　　玉　城　春　一
新　垣　喜三郎　　金　城　吉　光　　幸　地　正　徳　　嶺　井　政　徳
西　平　守　男　　仲宗根　保　栄　　玉　城　盛　勝　　仲　田　清　信
井　上　能　光　　上　間　英　三　　玉　城　雅　夫　　仲門田　　孝
国　場　勇次郎　　長　嶺　輝　一　　徳　嶺　保　秀　　仲　村　　宏
上　原　利　夫

委員長　小　飼　栄　一

副委員長　仲　村　寛　市

委　員

相　場　清　一　　安　倍　淳　美　　池　田　昌　道　　伊　藤　鉱　一
今　北　基　夫　　加　藤　寛　治　　川　島　一　郎　　神　沢　　暁
坂　本　真　人　　里　見　光　徳　　鈴　木　竜　平　　千　葉　健　夫
遠　井　稔　男　　中　島　寿　禧　　野　村　嘉　明　　松　波　鋭四郎
上　原　正　士　　加　藤　三　夫　　福　岡　幸　一　　村　山　幸　雄
嶺　井　　栄　　屋比久　　潔　　井　上　　赳　　本　村　勝　史
大　城　義　徳　　友　利　成　寿　　泉　　健　司　　又　吉　　慧
上　原　武　久　　大　山　　基　　宮　城　邦　子　　根　木　政　光
松　田　　修　　末　次　正二郎　　安　里　　隆　　下　地　忠　正
砂　川　京　子　　上　原　正　順　　上　原　善　徳　　大　城　正　俊
金　城　政　安　　大　湾　朝　久　　真栄里　　保　　上　原　盛　章
漢　那　宗　信

競　技　役　員

（順　不　同）

総務委員長	仲村寛市			
総務副委員長	和田　寿	本村勝史		
総務主任	又吉　慧			
総務委員	井上　赳	松田　修	島袋弘行	砂川京子
	宮　昌代	儀間利子		
競技委員長	池田昌道			
競技副委員長	嶺井　栄	上原武久		
競技委員	崎原盛豊	安里　隆	宮城邦子	井上　赳
	宮井文彦			
進行主任	島袋正勝			
進行委員	宮城清英	真栄里美保	大城　朗	幸地史男
記録主任	新垣　繁			
記録委員	諸見里安弘	本永　卓	富元明雄	徳門正芳
点示主任	金城一男			
点示委員	伊集　久	新城真栄	渡嘉敷通之	
シャトル主任	宮里健治			
シャトル委員	野原由賢	上原徳光		
掲示主任	山城哲二			
掲示委員	小那覇安照	安次富吉雄		
報道主任	瀬名波栄啓			
報道委員	久高友明	糸数幸雄		
放送主任	富里美沙子			
放送委員	屋良明美	与座寿美恵	上原　泉	
召集主任	屋比久　彰			
召集委員	天久勝義	星野　朗		
総合成績計算委員長	村山幸雄			
総合成績計算委員	与那嶺幸佑	金城　満		
審判長	神沢　暁			
副審判長	川島一郎	泉　健司	比嘉　由	

審判員	新木恵一	今井正男	遠藤幸夫	高橋英夫
	藤田明男	白倉一民	前野親二郎	椎原和郎
	南直治	富田浩	徳永英敏	広瀬功三
	久保信行	西本孝	藤川幹	谷上和年
	柿原光利	中島泰二	小嶺長則	上原敏夫
	儀間常雄	小橋川正行	添石和男	下地忠正
	安谷屋昇	宮城正明	翁長博	城間一
	譜久島英次	前田務	棚原義雄	瑞慶覧長克
	根間秀夫	鎌田輝仁	儀間清浩	
線審主任	仲宗根茂安			
線審員	西原千男	山川靖	池間芳則	比嘉良高
	津嘉山久	西永浩	西原昭夫	山城英正
	喜舎場正彦	田場秀樹	石垣時男	玉城治仁
	島袋仁一	仲本勉	古堅宗篤	宮良雄二
	照屋悟	川満則明	大野正勝	金城秀
	金城学	玉城悟	新城力三	阿波根義代子
	玉城由加利	金城ゆかり	金城美加子	金城るり子
	大城園美	伊藤昭浩	大城博之	城間明
	与那嶺明	仲皿正伸	我那覇生長	比嘉義裕
	安谷屋政秀	宮昌代	仲村功	照屋人志
	大城哲幸	吉田幸弘	湧川善栄	仲里一彦
	儀間真也	屋良潔	新垣朋子	新崎聡美
	伊佐喜代美	与那嶺英子	永山千枝美	仲里ひとみ
	金城智	平良寛辰	知念豊	

競　技　補　助　員

（順　不　同）

総　務　係	豊見山　かの子	安谷屋　和　美	古　謝　美　幸	
整　備　係	稲　福　直　司	永　山　　勉	新　垣　　洋	照　屋　信　一
	新　垣　達　也	山　城　俊　幸	金　城　　忠	名嘉真　　久
	金　城　　学	西　　一	知　念　　健	與那嶺　達　之
	比　嘉　邦　博	金　城　幸　和		
練習会場係	新　垣　英　昭	金　城　宏　正	永　山　　司	伊　敷　　力
	大　輪　淳　二	玉那覇　清　忠	砂　川　武　博	座　覇　直　樹
競　技　係	金　城　安　利	高　橋　佳　宏	與那城　直　也	
進　行　係	大　城　直　美	金　城　成　子	金　城　早　苗	當　銘　園　江
	栄　　一　江	平　良　ゆかり		
記　録　係	久　高　えり子	花　城　聡　子	上　原　裕　子	真喜屋　綾　子
	照　屋　亜　弥	湖　城　紀　乃		
点　示　係	久保田　幸　代	金　城　央　子	喜　納　はるみ	金　城　利　香
	田　里　綾　子	大　城　美和子	上　原　智　子	新　城　正　美
	伊　敷　美千代	徳　元　みゆき	久保田　エリカ	玉　城　尚　乃
	安　里　次久美	大　城　和　枝	名　城　みさよ	上　原　　歩
	井　上　美智代	大　城　かおり	大　湾　尚　美	又　吉　美奈子
	山　里　寿　子	長　嶺　千鶴子	當　山　春　美	伊　集　知恵美
	瀬　長　美奈子	上　原　かおり	赤　嶺　静　香	島　　由起子
	阿　良　みかこ	新　崎　かおり	与那覇　育　子	仲　嶺　めぐみ
	伊　芸　弘　子	川　上　さおり	城　間　孝　美	前　川　夏　江
	高　安　はるみ	新　垣　香津枝	柳　田　奈穂子	赤　嶺　多津子
	新　垣　恵　美	川　平　ひさみ	東恩納　洋　子	末　吉　ひとみ
	川　上　朝　子	宇地原　恵　美	城　間　直　子	上　地　桐　代
	久　貝　清　子	仲宗根　純　江	上　田　美　佳	仲宗根　久　枝
	小　島　　泉	照　屋　直　美		
シャトル係	上　原　　康	杉　田　　誠	新　垣　任　明	
掲　示　係	上江洲　利　明	山　内　博　人	手登根　直　子	儀　間　幸　栄
報　道　係	金　城　　修	新　垣　　尚		
放　送　係	大　城　世樹子	新　崎　美奈子		
召　集　係	新　垣　繁　徳	宮　里　哲　好	新　垣　雅　敏	浜　川　秀　敏
	金　城　　徹	新　垣　勇　一	照　屋　幸　夫	照　屋　　忠
	幸　地　俊　之			

競　技　会　係　員

（順　不　同）
○は班長

実施本部長　（助　　役）上原清次
実施副本部長　（収入役）島袋仁栄
（教育長）屋嘉比柴文
総務部長　（総務部長）上原浩一

企画調整班　○稲嶺盛基
徳元孝進　漢那宗信　山城茂範　上原幸進
真栄里保　玉城美江子　伊敷幸昌　神谷良昌
伊敷忠　玉城伸　阿波根庸伸　玉城明美
新屋茂則　大城繁　金城千恵美

総務班　○仲門用孝
大城勇　城島栄　久保悟　新垣清和
呉屋美恵　玉城喜美子

広報班　○国吉真光
内間弘　金城善　湖城清　前田惇

財政班　○国場勇次郎
山城幸吉　上原善治　嶺井君子　山城幸代

接待班　○上原健市　○上原玲子
上原賢三郎　金城幸輝　稲嶺盛勇　玉城寿男
玉城実　大城幸子　大城美根子　神里千代子
浦崎哲男　亀甲義雄　神谷茂雄　比嘉譲
宮城瞳　泉川吉太郎　大城英孝　宮城正一
宮城力　大城トミ子　奥平末子　金城裕子
湖城真由美　金城利枝子　上原静枝　稲田和恵
稲嶺くに子　波平政子　玉城信美　大田千恵子
賀数美智江　長嶺友子　並里民子　金城初江
赤嶺秀子　伊敷康子　金城文子　玉城美智子
座安律子　長嶺秋子　島添洋子　宜野座律子
宜野座教子　赤嶺菊江　野原喜美江　城島宏子
新田照子

施　設　部　長　（建設部長）玉　江　光　英

第一施設班　○長　嶺　輝　一

宇地原　克　信　金　城　利　男　金　城　清　孝　花　城　宗　順

中　村　行　雄　山　川　国　正　喜　納　兼　雄　阿佐慶　正　秀

第二施設班　○伊　敷　武　雄

金　城　弘　道　糸　数　昌　市　福　元　　毅

市民運動部長　（経済部長）山　里　朝　盛

市民運動班　○神　谷　晴　喜

長　嶺　好　益　玉　城　健　次　上　原　　司　島　根　　薫

山　城　信　善

美化運動班　○安　里　芳　国

大　城　良　善　喜　納　純　一　新　垣　　徹　大　城　勝　雄

神　里　義　光

観　光　班　○乾　　邦　久

久保田　　博　金　城　　博　金　城　誠　栄　玉　城　吉　盛

玉　城　利　夫　上　原　悦　子

接　伴　部　長　（議会事務局長）山　内　昌　豊　（土地開発公社事務局長）上原　善徳

接　伴　班　○慶留間　清　栄　○兼　城　賢　正

金　城　米　子　新　垣　善　孝　賀　数　　宏　上　原　初　美

大　城　弘　明　当　銘　孝　枝　伊　敷　正　俊　金　城　政　枝

バドミントン競技
競技式典部長　（土地開発公社専務理事）永　山　満　雄

式典総務班　○徳　嶺　保　秀

川　門　勝　栄　上　原　栄　勝　神　里　美佐子　野　原　京　子

競　技　班　○富　永　貞　一

金　城　良　勝　伊　敷　増　孝　金　城　義　朗　上　原　　斉

式　典　班　○新　垣　英　助

（玉　城　雅　夫）（金　城　良　勝）　金　城　栄　子　玉　城　善　治

金　城　秀　佳　照　屋　フミエ　（伊　敷　増　孝）　島　袋　和　江

国　吉　真一郎　（金　城　義　朗）（玉　城　隆　光）　玉　城　　満

（金　城　　寛）　金　城　健　正　金　城　　秀　上　原　　斉

（大　城　　博）

記　録　班　○金　城　寛　成

喜友名　和　雄　（玉　城　　満）（金　城　健　正）　大　城　清　太

金　城　　充　兼　城　浩　康　百　次　暁　仁

宿泊・保健衛生部　（民生部長）金城重雄

衛生班　○上原裕常

上原和市　知念豊治　山城勝秀　大城良雄

上原　勇　大城美根子　金城盛憲　照屋民子

金城盛和　宇地原克治

救護班　○上原文夫

金城　清　志茂正吉　上原　悟　宮城行雄

大城和江　上原ノリ子　上原幸子

交通輸送部　（水道部長）比嘉幸信

交通指導班　○太田達治

国場　正　大城清保　大城和則　徳元　勲

神山　勉　賀数勇功　大嶺信政　国場　毅

山城　繁　宮城満吉　金城　悟　伊敷　勝

名嘉喜栄　神谷博光　上原秀樹　金城　靖

山城　勉　大嶺快助　上良政弘　金城正弘

（金城　寛）（玉城雅夫）（玉城隆光）（大城　博）

輸送班　○玉城　清

玉城栄徳　金城清喜　赤嶺長友　大城秀正

金城　修　慶留間功栄　大城宜律　新垣　元

玉城　剛　大城　拡　平安名栄一　金城伊作

山城隆次　島袋雄介　伊敷　薫　玉城真宏

防災、警備部長　（消防長）大城良正

警備班　○翁長良次

防災班　○新垣和雄

競技会補助員

（順不同）

式典総務	玉城みどり	長嶺朋子	知念佐矢香	上原あゆみ
（湯茶接待）	稲嶺利更	東　末美	伊敷いずみ	長嶺香織
館内美化	大城直哉	糸数昌康	安里亜利佐	新崎敏枝
競技係	奥田義達			
整理係	糸数昌智	三池朋宏	川門　卓	伊敷明人
	岩橋早都美	清　静恵	大城末子	金城さおり
記録報道	金城憲明	玉城貴之	前森克洋	金城安也
	上原栄二	米田博之		
筆耕	奥田洋子			
式典進行	金城和也	金城直輝	金城克也	高宮城直也
	神谷　進	伊集守照	久手堅政和	徳元　強
	大城宜光	伊集　栄		
プラカード保持者	大城直美	大城優子	大城あすか	金城みどり
	大城清美	金城奈美	大城真紀	大城りか
	當山春香	仲宗根みゆき	神谷綾乃	嶋根節子
	大城和美	砂川千寿子	大城あゆみ	森　幸枝
	大城美佐子	金城千賀子	大城さおり	長嶺まさみ
	上原しのぶ	桃原里奈	五城里美	金城智江
	具志堅留美	加島美矢子	鉢嶺里美	宮里こずえ
	大城輝美	大城美和子	森　友枝	大城恵美子
	金城利香	大城恵子	大城幸代	大城智枝美
	長嶺奈々子	添石里奈	大城秀子	當銘貴子
	大城夏世	大城史絵	東江さおり	大城　香
	大城五月	長嶺百代	知花聖子	比嘉真紀
	島根優子	長嶺直美	大城美千代	大城優美子
	伊是名めぐみ	福地　香	美尚あけみ	高良美智子
	崎山美奈	平良かおる	金城しのぶ	宮里利香
	幸地方子	真栄里きよみ		

協力機関・関係団体

（順不同）

糸満市役所
糸満市設計協会
糸満市青年会議所
糸満市老人クラブ連合会
糸満市議会
南部地区医師会
糸満市教育委員会
糸満地区交通安全協会
糸満郵便局
県立南部病院
糸満市農業委員会
糸満市青年団協議会
糸満警察署
糸満市金融協会
糸満市婦人連合会
糸満市建設業協会
沖縄県歯科医師会糸満支部
糸満市商工会
糸満市社交業組合
自治連絡会
糸満市管工事組合
個人タクシー協会糸満支部
糸満漁業協同組合
沖縄バス㈱糸満市出張所
糸満市社会福祉協議会
糸満市更生保護婦人会
琉球バス㈱糸満市出張所
糸満市赤十字奉仕団
糸満市ＰＴＡ連合会
那覇交通バス㈱糸満市出張所
沖縄県野球連盟
糸満市少年野球連盟
糸満市体育協会
糸満市野球連盟
糸満市バドミントン協会
糸満市五農協
沖縄県バドミントン協会
糸満市体育指導委員協議会
糸満市地区防犯協会
糸満高等学校
沖縄水産高等学校
糸満市青少年健全育成協議会
糸満市スポーツ少年団
糸満ライオンズクラブ
糸満市市民憲章推進協議会
糸満市スポーツ振興審議会
ＮＴＴ糸満電信電話局
糸満市土地開発公社
糸満市子ども会育成連絡協議会
糸満市民生児童委員連絡協議会
糸満青年の家
糸満市小中学校校長会
糸満市選挙管理委員会
糸満市保護司会



天 皇 杯　　皇 后 杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第 1 条　天皇杯は、男女総合成績第 1 位の都道府県、皇后杯は女子総合成績第 1 位の都道府県に授与する。

2. 第 1 位が 2 都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第 2 条　天皇杯及び皇后杯は、秋季大会閉会式に授与し、次回冬季大会最初の競技会開会式において返還する。

第 3 条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。

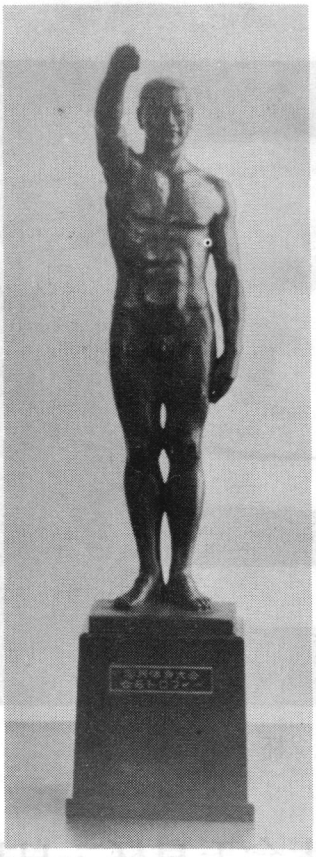
(3) 財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため、又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は昭和41年 4 月 1 日制定

昭和45年 1 月22日一部改訂

昭和48年 7 月10日一部改訂

昭和54年 5 月 9 日一部改訂



国民体育大会会長トロフィー授与規程

第 1 条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、各正式競技男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

2.　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第 2 条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回大会開始式において返還する。

第 3 条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

⑴　責任をもって保管する。

⑵　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

⑶　優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は当該都道府県で協議して決めるものとする。

⑷　財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　本規程は昭和41年４月１日制定
昭和45年１月22日一部改訂
昭和48年７月10日一部改訂
昭和54年５月９日一部改訂

式典日程及び式次第

1. 開始式

(1) 日　時　　昭和62年10月26日（月）午前８時00分

(2) 場　所　　糸満市西崎総合体育館

(3) 式次第

順	次第	時刻	要領	音楽
集合整列	選手団集合開始 役員・選手団整列 役員・選手団整列完了 開式通告	7：40 7：50 7：55 7：55	放送 放送 放送	
1	開式通告	8：00	放送	ファンファーレ演奏
2	選手団入場	8：01	競技会会長　桜内義雄　登壇	「行進曲」演奏
3	競技会開始宣言	8：16	競技会委員長　小飼栄一	ファンファーレ・煙火
4	国旗儀礼	8：17	全員　国旗注目・斉唱	「君が代」演奏
5	大会旗儀礼	8：19	大会旗注目・斉唱	「若い力」演奏
6	県旗・市旗儀礼	8：21	県旗・市旗注目・斉唱	「糸満市民の歌」演奏
7	大会会長トロフィー返還	8：23	競技会会長　登壇	「得賞歌」演奏
8	競技会会長あいさつ	8：24	競技会会長　桜内義雄	
9	歓迎のことば	8：27	糸満市実行委員会会長 糸満市長　下門律善 沖縄県バドミントン協会 会長　稲福盛輝 糸満市議会議長　上原賢一	
10	表彰	8：33	競技会会長　登壇	「得賞歌」演奏
11	開式通告	8：43	放送	ファンファーレ演奏
12	選手団退場	8：45	放送	「行進曲」演奏
公開演技	演技開始 演技終了	8：55 9：10	マーチングバンド隊演技 糸満市立西崎小学校　60名 〃　兼城小学校　40名	計１００名

2. 表 彰 式

(1) 日　時　　昭和62年10月29日（木）

(2) 場　所　　糸満市西崎総合体育館

(3) 式次第

（試合が予定通り終了した場合）

順	次第	時刻	要領	音楽
集合整列	役員選手団整列	13：30	放送	
	開式予告	13：58	放送	
1	開式通告	14：00	放送	ファンファーレ演奏
2	選手団入場	14：01	競技会会長　桜内義雄　登壇	「行進曲」演奏
3	成績発表	14：10	競技委員長	
4	表彰	14：12	競技会会長	「得賞歌」演奏
5	競技会会長あいさつ	14：30	競技会会長	
6	歓送のことば	14：33	糸満市実行委員会会長 糸満市長　下門律善	
7	国旗儀礼	14：37	全員　国旗注目・斉唱	「君が代」演奏
8	大会旗儀礼	14：39	大会旗注目・斉唱	「若い力」演奏
9	県旗・市旗儀礼	14：41	県旗・市旗注目・斉唱	「糸満市民の歌」演奏
10	競技会終了宣言	14：43	競技会委員長　小飼栄一	ファンファーレ・煙火
11	閉式通告	14：44	放送	
12	選手団退場	14：45	放送	「行進曲」演奏
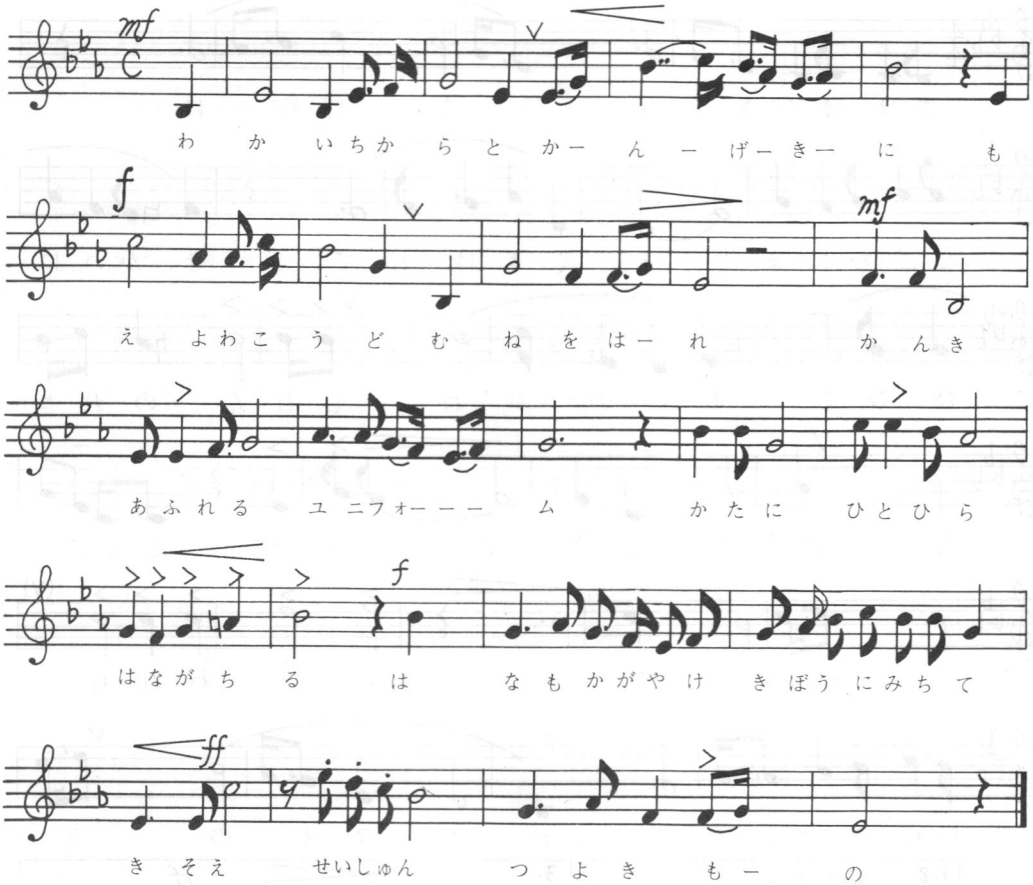
諸会議日程

会議名	期日	時刻	会場	所在地	電話
審判会議	10月25日(日)	16：00～	糸満市 社会福祉センター	糸満市 字真栄里857番地	09899 4−0563
監督会議	10月25日(日)	17：30～	糸満市 社会福祉センター	糸満市 字真栄里857番地	09899 4−0563
全国理事長会議	10月25日(日)	19：00～	ひめゆりパーク	糸満市 字真栄平1300番地	09899 7−3111

大会歌　若い力

日本体育協会選定

作詞　佐伯孝夫
作曲　高田信一
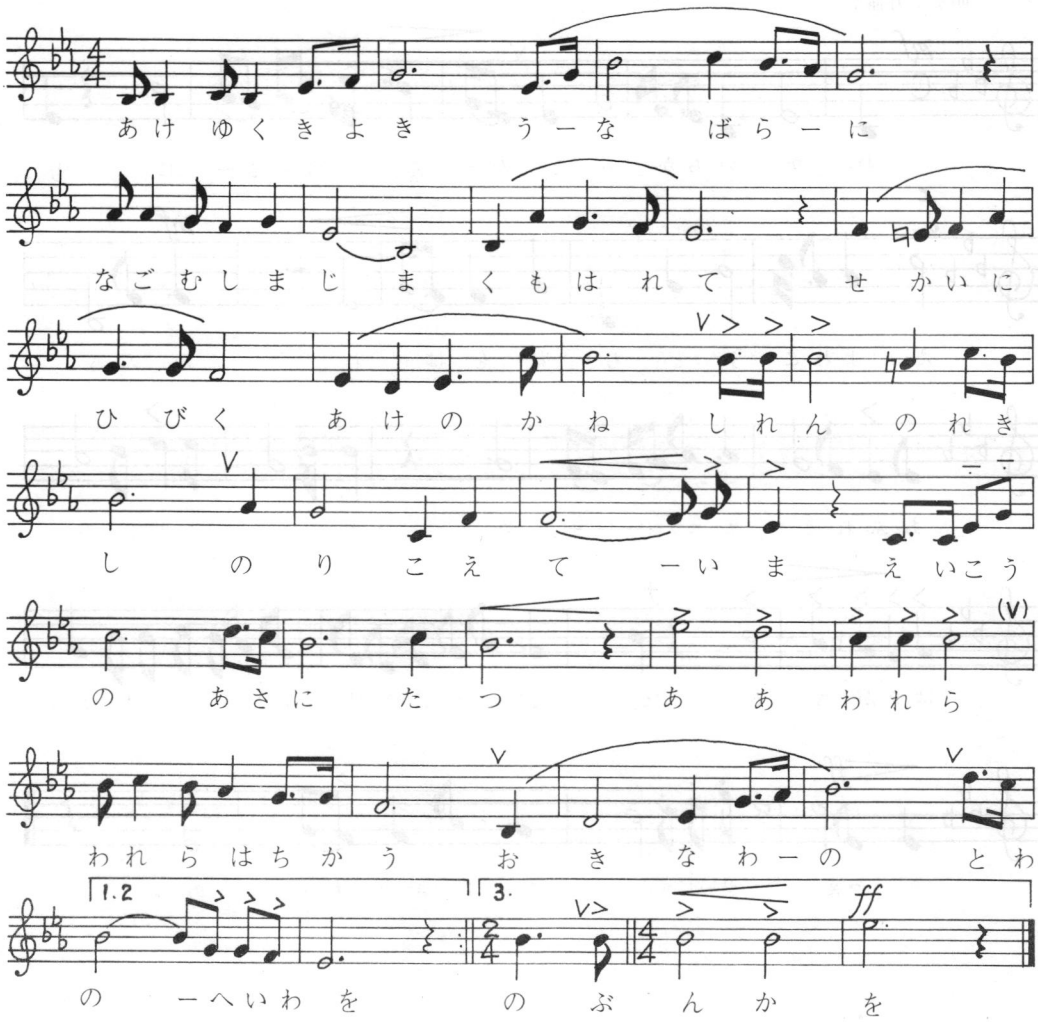


一、
若い力と感激に
燃えよ若人　胸を張れ
歓喜あふれる　ユニフォーム
肩にひとひら　花が散る
花も輝け　希望にみちて
競え青春　強き者

二、
薫る英気と　純情に
瞳あかるい　スポーツマン
僕のよろこび　君のもの
挙る凱歌に　虹が立つ
友情身にしむ　熱こそいのち
競え青春　強き者

沖縄県民の歌

宮里静湖　作詞
沖縄県民の歌選定委員会　補作
城間繁　作曲

生き生きと ♩＝約108
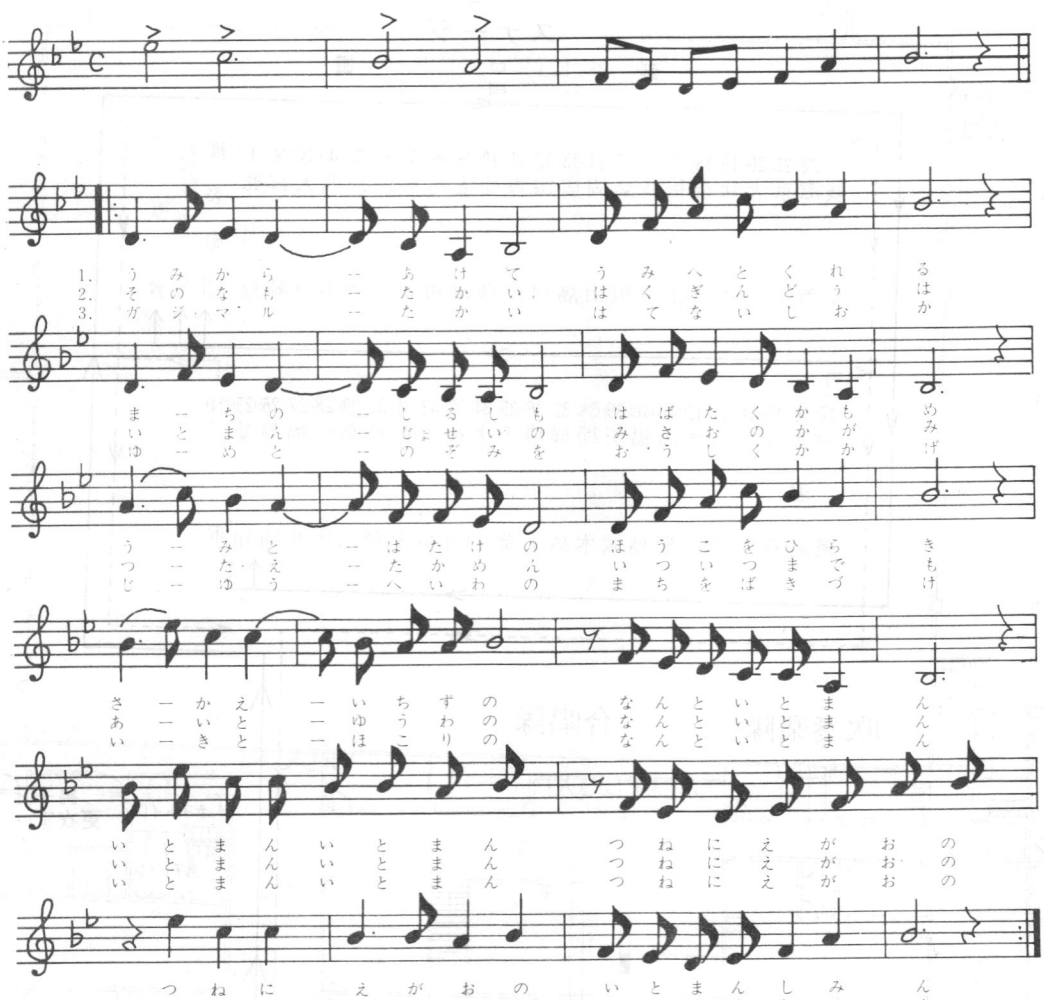


一、
明けゆく清き　海原に
なごむ島々　雲晴れて
世界にひびく　暁の鐘
試練の歴史　のり越えて
いま栄光の　朝に立つ
ああわれら　われらは誓う
おきなわの　永遠(とわ)の平和を

二、
黒潮めぐる　百浦に
みどりの山河　照り映えて
自主開発　ゆたかなる
新沖縄の　建設に
いまはらからは　競い立つ
いざわれら　われらは築く
ふるさとの　永遠の繁栄(さかえ)を

三、
光みなぎる　大空に
燃えるでいごの　花染めて
代々に承けつぎ　伝えきた
民族文化　さん然と
いまふるさとの　地を照らす
ああわれら　われらはつくる
おきなわの　未来(あす)の文化を

糸満市民の歌

作詞　遠藤朝英
作曲　渡久地政信



糸満市民の歌

作詞　遠藤朝英
作曲　渡久地政信

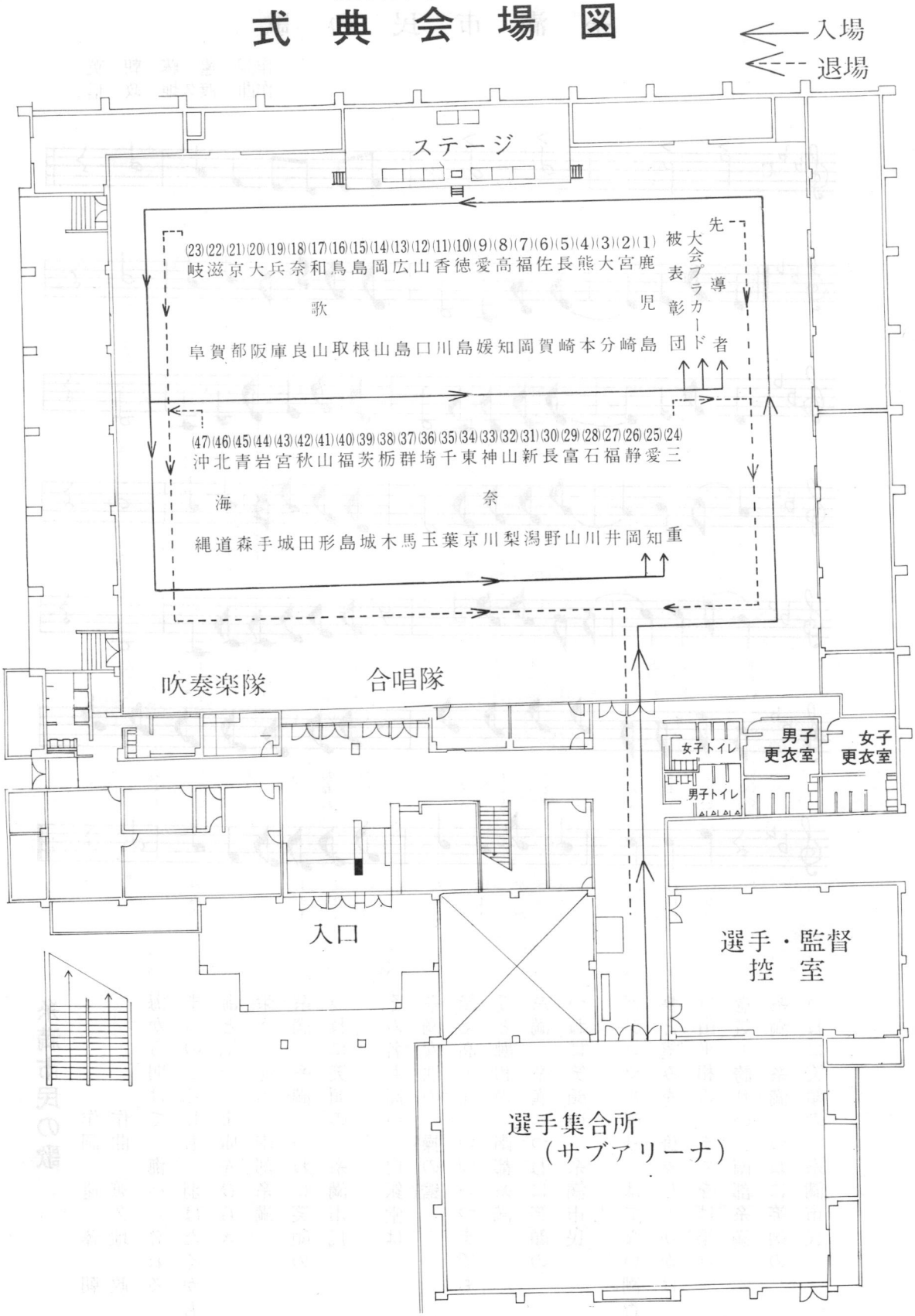
一、
海から明けて　海へと暮れる
まちのしるしも　羽ばたくかもめ
海と畑の　宝庫をひらき
栄え一途の　南部糸満
糸満　糸満　つねに笑顔の
つねに笑顔の　糸満市民

二、
その名も高い　白銀堂は
糸満女性の　操の鑑
伝え高めん　いついつまでも
愛と融和の　南都糸満
糸満　糸満　つねに笑顔の
つねに笑顔の　糸満市民

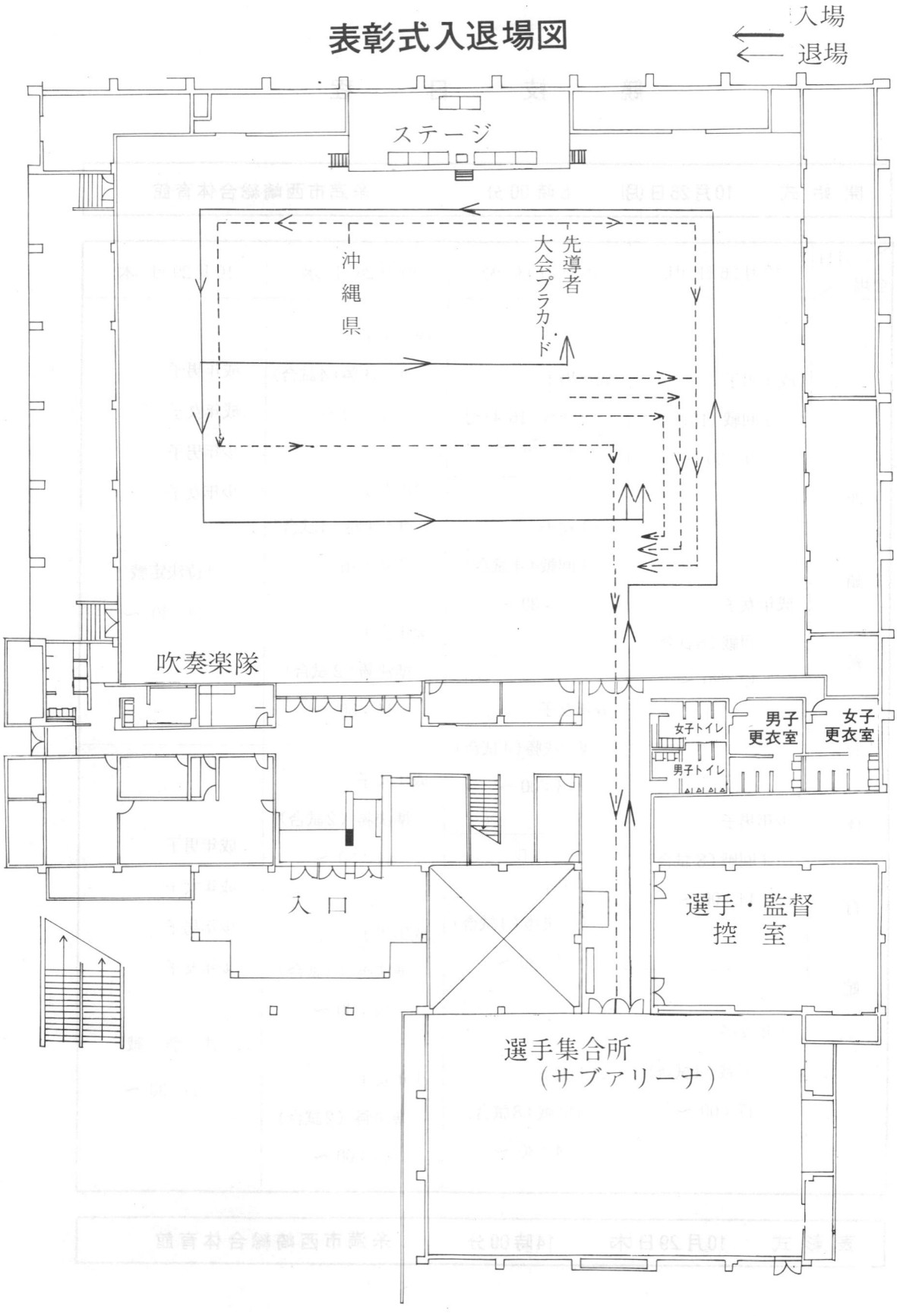
三、
ガジュマル茂り　はてない潮香
夢と望みを　雄々しくかかげ
自由平和の　まちをば築け
意気と誇りの　南部糸満
糸満　糸満　つねに笑顔の
つねに笑顔の　糸満市民

開始式入退場図

式典会場図



表彰式入退場図


入場
退場
ステージ
沖縄県
先導者
大会プラカード
吹奏楽隊
女子トイレ
男子トイレ
男子更衣室
女子更衣室
入口
選手・監督控室
選手集合所
（サブアリーナ）

競　技　日　程

開 始 式　　10月26日(月)　　8時00分　　糸満市西崎総合体育館

月日 / 会場	10月26日(月)	10月27日(火)	10月28日(水)	10月29日(木)
西崎総合体育館	成年男子 1回戦(15試合) 9：30～	成年男子 2回戦(16試合) 8：30～	成年男子 準々決勝(4試合) 9：30～	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子 3位決定戦 9：30～
	成年女子 1回戦(8試合) 12：30～	少年女子 1回戦(4試合) 11：30～	少年女子 準々決勝(4試合) 9：30	
	少年男子 1回戦(8試合) 14：00～	成年女子 準々決勝(4試合) 13：00～	少年男子 準決勝(2試合) 11：30～	
	少年女子 1回戦(4試合) 17：00～	少年男子 準々決勝(4試合) 14：30～	成年女子 準決勝(2試合) 11：30～	成年男子 成年女子 少年男子 少年女子 決勝戦 11：30～
		成年男子 3回戦(8試合) 14：30～	成年男子 準決勝(2試合) 14：00～	
			少年女子 準決勝(2試合) 14：00～	

表 彰 式　　10月29日(木)　　14時00分　　糸満市西崎総合体育館

タイム・テーブル

月日	開始時刻 ＼ コート	1	2	3	4	5	6
第1日目 10月26日(月)	8：00	開始式					
	9：30	M 1	M 2	M 3	M 4	M 5	M 6
	11：00	M 7	M 8	M 9	M 10	M 11	M 12
	12：30	M 13	M 14	M 15	L 1	L 2	L 3
	14：00	L 4	L 5	L 6	L 7	L 8	B 1
	15：30	B 2	B 3	B 4	B 5	B 6	B 7
	17：00	B 8	G 1	G 2	G 3	G 4	
第2日目 10月27日(火)	8：30	M 16	M 17	M 18	M 19	M 20	M 21
	10：00	M 22	M 23	M 24	M 25	M 26	M 27
	11：30	M 28	M 29	M 30	M 31	G 5	G 6
	13：00	G 7	G 8	L 9	L 10	L 11	L 12
	14：30	B 9	B 10	B 11	B 12	M 32	M 33
	16：00	M 34	M 35	M 36	M 37	M 38	M 39
第3日目 10月28日(水)	9：30	M 40	M 41	M 42	M 43	G 9	G 10
	11：30	G 11	G 12	B 13	B 14	L 13	L 14
	14：00	M 44	M 45			G 13	G 14
第4日目 10月29日(木)	9：30	●M 46		●B 15	●L 15		●G 15
	11：30	□M 47		□B 16	□L 16		□G 16
	14：00	表彰式					

□は決勝戦　　●は3位決定戦

Mは成年男子，　Lは成年女子，　Bは少年男子，　Gは少年女子

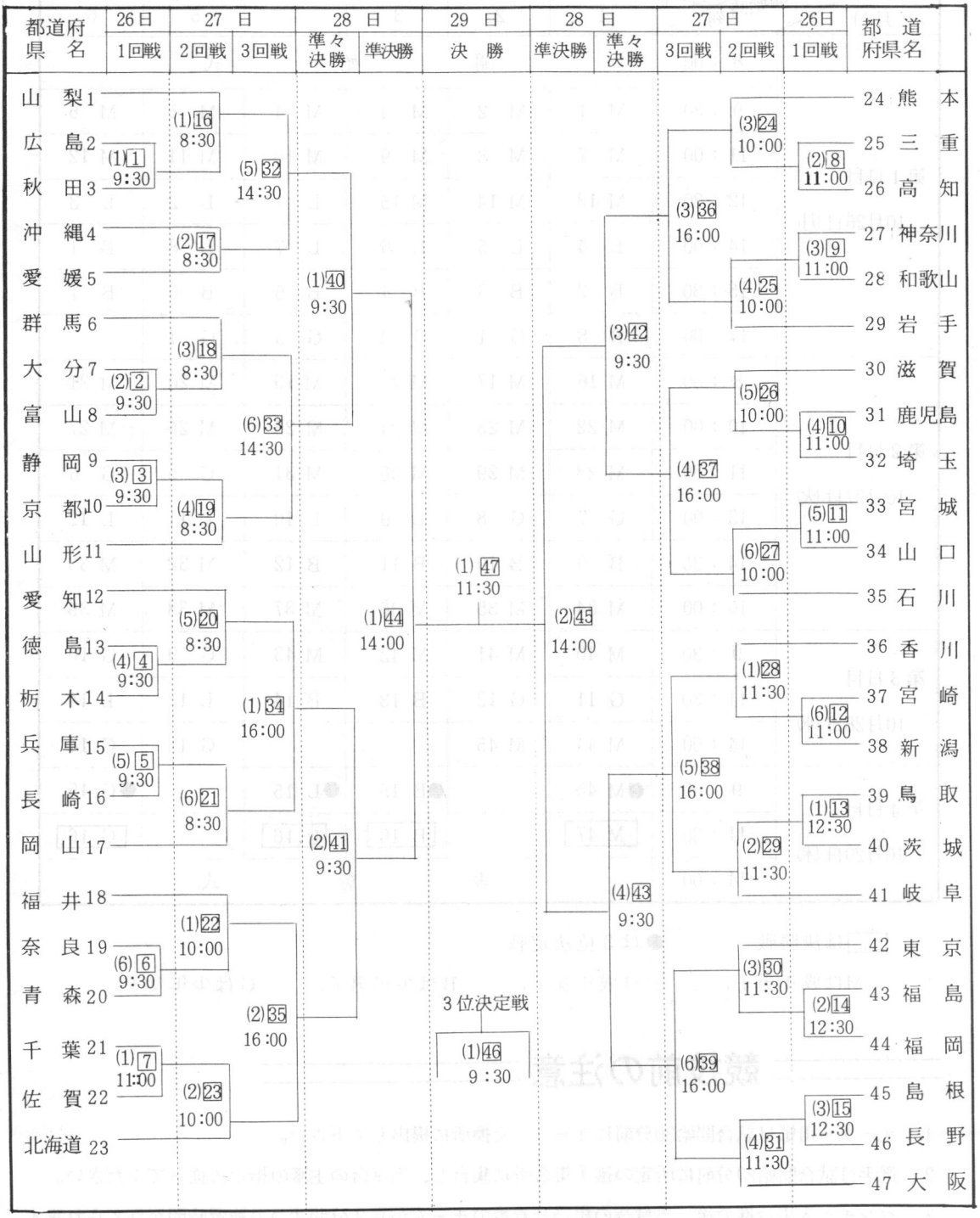
競技前の注意

1. オーダー用紙は試合開始30分前にオーダー交換所に提出して下さい。
2. 選手は試合開始20分前に所定の選手集合所に集合し、当試合の主審の指示に従ってください。
3. ベンチへ入場行進の後、当試合の組合せ若番のチームから3分間ずつの練習時間が与えられます

組　み　合　わ　せ　表

成　年　男　子　（M）

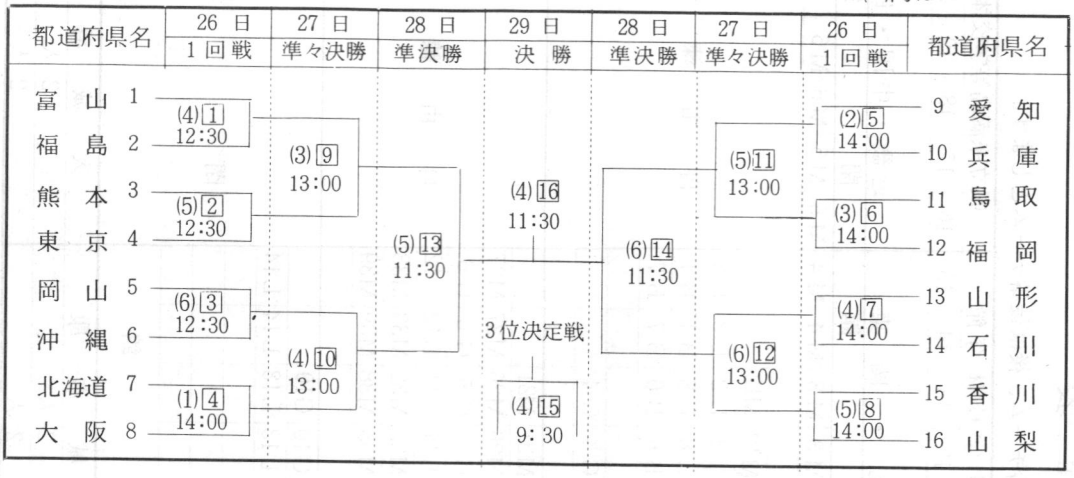
□ 内は試合番号
（ ）内はコート番号



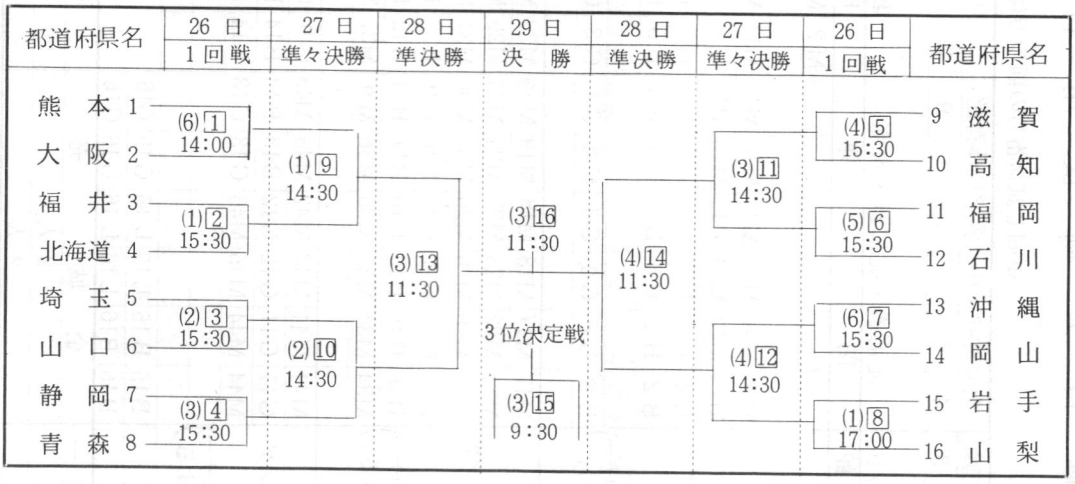
組　み　合　わ　せ　表

□内は試合番号
( )内はコート番号

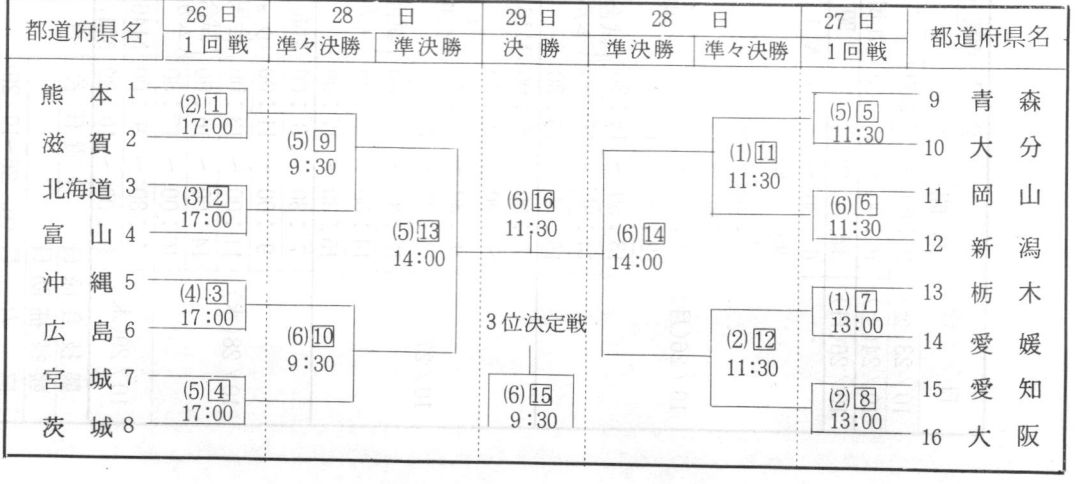
成　年　女　子　（L）



少　年　男　子　（B）



少　年　女　子　（G）



練習会場使用日程表

※同じ試合番号の前の方は若番チーム、後は後番チームとします。

日程	会場 / 時間 / コート	西崎小学校体育館 1	2	3	県立沖縄水産高等学校体育館 4	5	6	7	8	9	西崎中学校体育館 10	11	12	13	14	15	県立糸満高等学校体育館 16	17	18	19	20	21
10/23(金)	9:00～17:00	九州ブロック			北海道・北信越・東海						東北・関東						近畿・中国・四国					
10/24(土)	9:00～17:00																					
10/25(日)	総合開会式	閉館			閉館						閉館						閉館					
10/26(月)	6:30～7:30	M1	M1								M2	M2	M3	M3	M4	M4	M5	M5	M6	M6		
	開始式																自由練習					
	9:30～10:30	M7	M7		M8	M8	M9	M9	M10	M10	M11	M11	M12	M12								
	10:30～11:30	ウォーミング会場 (試合直前のチームが使用する。)			M13	M13	M14	M14	M15	M15	L1	L1	L2	L2	L3	L3						
	11:30～12:30				L4	L4	L5	L5	L6	L6	L7	L7	L8	L8	B1	B1						
	12:30～13:30				B2	B2	B3	B3	B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7						
	13:30～14:30																					
	14:30～15:30				B8	B8	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4								
	15:30～16:30																					
10/27(火)	7:00～8:00	M16	M16		M17	M17	M18	M18	M19	M19	M20	M20	M21	M21			自由練習					
	8:00～9:30	ウォーミング会場 (試合直前のチームが使用する。)			M22	M22	M23	M23	M24	M24	M25	M25	M26	M26	M27	M27						
	9:30～11:30				M28	M28	M29	M29	M30	M30	M31	M31	G5	G5	G6	G6						
	11:00～12:30				G7	G7	G8	G8	L9	L9	L10	L10	L11	L11	L12	L12						
	12:30～14:00				B9	B9	B10	B10	B11	B11	B12	B12	M32	M32	M33	M33						
	14:00～15:30				M34	M34	M35	M35	M36	M36	M37	M37	M38	M38	M39	M39						
	15:30～17:00																					
10/28(水)	7:30～9:00	M40	M40		M41	M41	M42	M42	M43	M43	G9	G9	G10	G10			閉館					
	9:00～11:00	ウォーミング会場 (試合直前のチームが使用する。)			G11	G11	G12	G12	B13	B13	B14	B14	L13	L13	L14	L14						
	11:00～13:00				M44	M44	M45	M45	G13	G13	L14	L14										
	14:00～16:00																					
	16:00～17:30																					
10/29(木)	7:30～9:00	M46	M46		B15	B15	L15	L15	G15	G15	閉館											
	9:00～10:30	M47	M47		B16	B16	L16	L16	G16	G16												
競技会係員 / 責任者		百次暁一			金城充						兼城浩康						大城清太					
競技補助員		2人			2人						2人						2人					
協力員(10/26～10/29)		2人			2人						2人						2人					

バドミントン競技の見かた

〔国体とバドミントン〕

●正式競技になったのはいつ頃

１９５０年（昭和25年）第５回愛知国体からです。当時は一般男子、一般女子、高校男子の３種別で行なわれていました。

●参加資格はどうなっていますか

本国体は、成年男子が47都道府県予選なしで参加できますが、その他、成年女子、少年男子、少年女子は、各ブロック予選を勝ち抜いてきた15都道府県と開催県の16チームがそれぞれ参加できます。

●試　合　形　式　は

都道府県対抗のトーナメント方式で行なわれ、試合は１複２単の順に試合を進め、先に２勝したチームが勝ちとなります。

〔バドミントンの歴史〕

●バドミントンのルーツは

ゲームのルーツは、インドのボンベイ地方で行なわれていた「プーナ」という遊びだと言われています。

１８７３年（明治６年）イギリスのボーフォート公の領地であるグロスターシャのバドミントン村でパーティが開かれたとき、インド帰りの陸軍将校が余興にプーナゲームを紹介したところ、たちまち全国に広がり、バドミントンと名付けられたといいます。

●競技としての発展はいつ、どこで

１８９３年（明治26年）競技規則が統一されて急速に競技として発展し、英国バドミントン協会が設立されました。そして１８９９年（明治32年）に第１回全英選手権大会がロンドンで開催されました。

●日本への伝来は

大正の終り頃から昭和の初め頃と言われています。

１９４６年（昭和21年）に日本バドミントン協会が設立され、全国に普及していきました。現在ではすべての都道府県に協会がおかれ登録会員も約10万人を数えています。

●世界でのバドミントンの普及は

１９３９年（昭和14年）に国際バドミントン連盟（ＩＢＦ）が設立されまして、その後着実に発展し、現在加盟国は約80カ国になりました。

国際オリンピック委員会（ＩＯＣ）は、５年後のスペインで開催されるバルセロナオリンピックで初めて正式種目となり、国際的な盛り上がりが期待されます。

〔国際舞台での日本の活躍〕

●世界の大きな大会は

国際バドミントン連盟（ＩＢＦ）が主催する大きな大会は国別対抗大会のトマス杯（世界男子選手権）大会、ユーバー杯（世界女子選手権）大会があり、個人戦は世界選手権大会と、今年77回を終えた全英選手権大会などがあげられます。

●ユーバー杯大会の日本の活躍は

初参加の第４回（１９６６年）で優勝し、つづいて第５回、第６回と連続優勝、第７回大会はインドネシアに敗れたものの、第８回、第９回大会とも宿敵インドネシアを下して５回目の王座についたが、その後中国に王座を譲ってしまいました。

●歴史ある全英選手権での活躍は

日本人として初出場した小宮好雄（立大出）が第５位、以後秋山真男（中大出）、池田信孝・栂野尾昌一組（法大出）、飯野佳孝・土田証雄組（日大出）が第３位の成績を収めました。又、今年３月、松野修二・松浦進二組（法大出）が久々に第３位入りし、健闘した。

女子の活躍はさらにめざましく、１９６９年（昭和44年）に湯木博恵（日女体大出）がシングルスで優勝したのを筆頭に相沢マチ子・竹中悦子・植野恵美子・徳田敦子・高田幹子らが単複それぞれ６度、全英選手権のタイトルを獲得しています。さらに女子単で北田スミ子（四條畷女短大出）が去年、今年と２年連続第３位となりました。

このような活躍にともない、バドミントンは競技の他にレクリェーションとしても普及し、たくさんの人々に親しまれるようになりました。

●みどころ

スマッシュの初速は３５０キロ以上

バドミントンと言うと、日本古来の追い羽根から連想して、女性的な軽スポーツだと考えている人が多いようです。しかしバドミントンは、前後左右に素早く動く瞬発力、長時間のゲームに耐えられる持久力、相手の動きを読む

予見力が要求され、同時に相手の予測をはずし、自分のペースに引き込むインサイドワーク（頭脳的作戦）を必要とするハードなスポーツです。

このため、十分に鍛え抜かれた選手でも、急激な反転動作による負傷や、極度な体力の消耗でケイレンなどを起こすことも珍しくありません。また、ゆっくりとした動き、飛行を見せるシャトルも、一流の男子選手がスマッシュすると、初速350キロを超えます。逆に高く打ち上げられた打球は、時速ゼロとなって垂直に落下します。このスピードの変化による多彩なゲーム展開と、強じんな体力やスピード、強い精神力や集中力が要求されることから、バドミントンは〝男性的な対人競技〟であるという認識が、年々高まってきています。

サーブ権がなければ得点できない

このようなバドミントンの特徴をふまえたうえで、ルールを簡単に説明してみましょう。まず最大の特色は、サーブ権がある側のみ得点ができるということです。そして女子シングルスのみ11点、そのほか男子シングルス、男・女・混合ダブルスは15点を先取した方が1ゲームを勝ったことになり、2ゲーム先取すれば、その試合に勝つことができます。

またバドミントン独特のルールに、セティングがあります。ゲームは11点か15点が原則ですが、11点ゲームで9オールになったときは、さらに3点、10オールになったときはさらに2点、15点ゲームでは13オールになったとき、さらに5点、14オールになったときはさらに3点を争うもので、一種の延長戦です。セティングをするかどうかは、その得点に先に達した側（つまり追いつかれた側）に選択権があります。

サーブの打点が腰より高いと反則

競技には、いくつかのフォルト（反則）が定められています。主なものをあげてみましょう。

✤サービング・アバブ・ザ・ウェスト

サービスで、シャトルを打つ瞬間、シャトルの一部でもサーバーのウェスト（腰）より高いとき。

✤ラケット・ヘッド・アバブ・ザ・ハンド

サービスでシャトルを打つ瞬間に、ラケットの頭部全体が、ラケットを持っているサーバーの手全体よりも下にあることが、はっきりと認められる程度にまで、シャフトが下方を指していないとき。

✤フットフオルト、ラインクロス

サービスでシャトルが打たれるまで、サーバーまたはレシーバーの両足が、規定のサービスコートに入っていないとき。

✤フェイント、ボーク

サービスが始まってから、相手をだます動作（フェイント）をしたり、故意に動作の中断（ボーク）をしたとき。またサービスの際、サービスするのを故意に遅らせたり、レシーブ態勢をとるのを遅らせたとき。

✤アウト

サービスでも、プレー中でもシャトルがコートの境界線の外に落ちたとき。ネットを通り抜けるか、ネットの下を通ったとき。ネッ

トを越え損ったとき。天井か壁に触れたとき。プレーヤーの身体や着衣に触れたとき。

✲オーバー・ザ・ネット

プレー中にシャトルの打点が、ネットよりも打者側でなかったとき。

✲タッチ・ザ・ネット

インプレー中に、プレーヤーのラケット、身体、着衣が、ネットかネットの支持物に触れたとき。

✲ホールディング、ドリブル、ダブル・タッチ

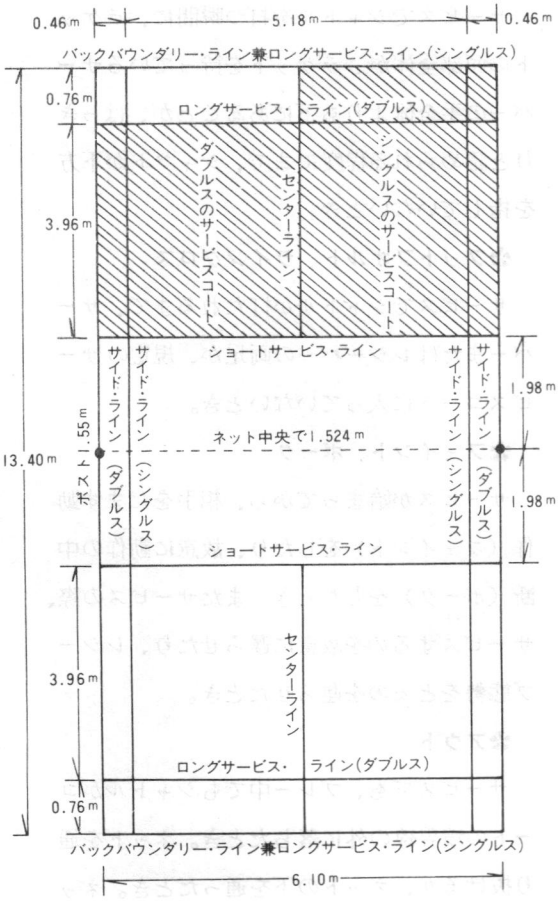
1回のストロークでシャトルをラケットでとらえ、保持して振り投げたとき。同じプレーヤーが、1回のストロークで2回続けてシャトルを打ったとき。プレーヤーとそのパートナーが連続してシャトルを打ったとき。

✲オブストラクション

相手を妨害したとき。

バドミントンのコート

バドミントン・コートのサイズ



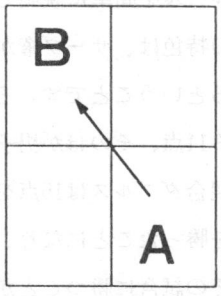
試合のすすめかた

●シングルス

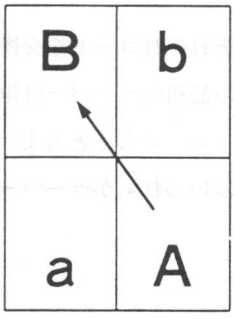
(1) まずトスをして、勝った方がサービスまたはコートをとる権利がある。

(2) サービスの権利を得たAは、右側のコートから、対角線上のサービス・コートに向かって打つ。

(レシーバーBは、サービスが終わるまで静止して待つ)



(3) Aが勝った場合、Aは1点をとる。次は左側のサービス・コートに移り同じく対角線上のコートに打つ。サービス側が勝たなければ、得点にはならない。



(4) サーバーが、右・左どちらのサービス・コートからサービスするかは、自分の得点が偶数のときは右側のコート、奇数のときは左側からサービスする、と覚えておけばいい。

(5) 第2ゲームはA・Bともに、それぞれコートを交換して試合を行う。

(6) 第2ゲームの最初のサーバーは、第1ゲームに勝ったプレーヤーであり、第1ゲームと同じように行う。

●ダブルス

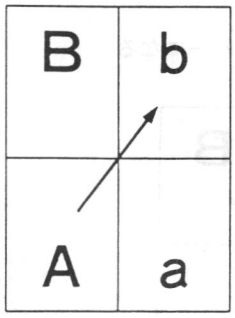
(1) A・aの組とB・bの組が試合をしたとする。まず、シングルスと同様にトスをして、サービスをするか又はコートを選ぶ。

A・aの組がサービスの権利を得たとする。

(2) それぞれの組は最初のサーバー及びレシーバーを決めておく。

最初のサーバーがA、レシーバーがBと仮定すると、A及びBは、それぞれ右サービス・コート及び右レシーブ・コートに位置する。

a及びbは、それぞれサービスやレシーブの邪魔にならない場所に位置する。



(3) AはBにサービスを行う。

(bはレシーブしてはならない。また、試合開始のサービス組のサービスする権利は一人だけである。その後のサービスは二人とも権利がある)

(4) レシーバーBがシャトルを打ち返したあとは、A・a・B・bの誰が打ってもよい。

(5) A・a組が勝った場合、A・aの得点になる。

サーバーAは、得点をしたのだから続いてサーバーとなり、今度は左サービス・コートから右レシーブ・コートのbにサーブする。(レシーブ側は、もとの位置のまま)

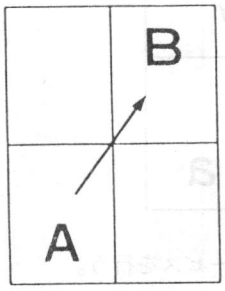
(6) B・b組が勝った場合、得点にはならないが、サービス権が移る。

B・b組は、最初のレシーバーとして右コートに位置したBが第1サーバーとなり、右レシーブ・コートに位置しているaに対してサービスをする。

(7) 自分の組の得点が偶数のときは、そのイニングの最初に位置していたコート、奇数のときは、反対側のコートに自分は位置する。

また、サービスの権利が他の組に移った場合は、右側のコートに位置すべきプレー

ヤーが必ず第１サーバーになる。



(8)　第２ゲームは、それぞれコートを交換するが、第２ゲームの最初のサーバーは第１ゲームの最初のサーバーでなくともよい。（Ａ・ａ・Ｂ・ｂのいづれもがサーバーになれる。）

バドミントンが強い国、さかんな国



（国際的な大会）

バドミントン競技成績の採点方法

(1) 競技得点算出方法

天皇杯種別	皇后杯種別	競技得点算出方法
成年男子 成年女子	成年女子	各種別の1位に12点、2位9点、3位8点、4位7点、5位（4チーム）に各4.5点を与え、その得点合計で競技得点算出順位を決定する。 ただし、同点の場合はその順位を共有し、次の順位を欠位とする。
少年男子 少年女子	少年女子	

(2) 男女総合（天皇杯）、女子総合（皇后杯）成績決定方法

男女総合、女子総合成績は、それぞれ下記ア、イ、ウの得点を合計したものとする。

ア 競技得点

(1)の得点合計の第1位の都道府県に12点、2位9点、3位8点、4位7点、5位6点、6位5点、7位4点、8位3点の競技得点を与える。ただし、同点の場合は当該都道府県でその順位を共有し、次の順位を欠位とする。得点は、次の順位の得点を加え当該都道府県で等分する。

イ 種別優勝得点

各種別の第1位の都道府県に種別優勝得点1.5点を与える。ただし、第1位が2都道府県以上の場合は1.5点を当該都道府県で等分する。

ウ 参加得点

大会（ブロック大会も含む）に参加した都道府県に参加得点1点を与える。

参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計	ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16	近畿	滋賀	3	3		3	3	12
東北	青森	3	3		3	3	12		京都	1	3				4
	岩手	2	3		3		8		大阪	4	3	3	3	3	16
	宮城	2	3			3	8		兵庫	2	3	3			8
	秋田	1	3				4		奈良	1	3				4
	山形	2	3	3			8		和歌山	1	3				4
	福島	2	3	3			8	中国	鳥取	2	3	3			8
関東	茨城	2	3			3	8		島根	1	3				4
	栃木	2	3			3	8		岡山	4	3	3	3	3	16
	群馬	1	3				4		広島	2	3			3	8
	埼玉	2	3		3		8		山口	2	3		3		8
	千葉	1	3				4	四国	香川	2	3	3			8
	東京	2	3	3			8		徳島	1	3				4
	神奈川	1	3				4		愛媛	2	3			3	8
	山梨	3	3	3	3		12		高知	2	3		3		8
北信越	新潟	2	3			3	8	九州	福岡	3	3	3	3		12
	長野	1	3				4		佐賀	1	3				4
	富山	3	3	3		3	12		長崎	1	3				4
	石川	3	3	3	3		12		熊本	4	3	3	3	3	16
	福井	2	3		3		8		大分	2	3			3	8
東海	静岡	2	3		3		8		宮崎	1	3				4
	愛知	3	3	3		3	12		鹿児島	1	3				4
	三重	1	3				4		沖縄	4	3	3	3	3	16
	岐阜	1	3				4	総計		95	141	48	48	48	380

出場監督・選手一覧表

▶ 成 年 男 子

○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
北海道	○ 遠藤 好男	NTT北海道設備建設センター	
	米山 孝二	NTT札幌中央電報局	
	伊藤 雅弘	NTT札幌南電話局	
	千葉 昌弘	NTT札幌ネットワークセンター	
青森	○ 斉藤 和則	弘前市役所	
	須藤 茂	自営	
	村元 英美	黒石市役所	
	山本 俊哉	フクシ・スポーツ	
岩手	○ 村上 信夫	盛岡市立けやき荘	
	伊藤 一郎	岩手県スポーツ振興事業団	
	石川 聡	JR東日本一ノ関保線区	
	佐藤 彰彦	水沢信用金庫	
宮城	○ 真壁 幹雄	㈱電気人友の会	
	加藤 安史	NTT東北	
	韮沢 伸幸	NTT東北	
	渡辺 勝治	NTT東北	
秋田	○ 熊地 春悦	秋田十條建産㈱	
	甲谷 甚一	㈲甲谷石材店	
	鎌田 正則	秋田大果㈱	
	伊藤 正己	マツダモータース秋田㈱	
山形	○ 岡田 寿紀	NTT酒田無線中継所	
	秋庭 一生	鶴岡市役所	
	丸山 勝美	鶴岡市役所	
	早坂 隆	農業	
福島	○ 須藤 博	三菱製紙㈱白河工場	
	寺田 繁	富士通㈱会津工場	
	渡辺 正光	富士通㈱会津工場	
	斉藤 清人	日本女子工業高校	
茨城	○ 金本 俊夫	航空自衛隊百里基地	
	細谷 志美	水府学院	
	本田 直人	日本メクトロン㈱	
	中谷 敏昭	筑波大学大学院	

▶ 成年男子

○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
栃木	○ 別井 晃	県体育館	
	工藤吉彦	今市高校	
	大島正志	宇都宮高校	
	大堀円	豊岡中学校	
群馬	○ 小林克史	藤岡女子高校	
	栗原恒夫	県立桐生高校	
	竹内康夫	富士重工	
	片桐哲也	三ツ葉電機	
埼玉	○ 唐沢清一	県立越谷高校	
	上田敏之	県立川口東高校	
	野村雅之	東京練馬石神井南中学校	
	田部井秀郎	県立朝霞高校	
千葉	○ 上田勉	県立大宮高校	
	大場和博	ピークスポーツ	
	織本富之	ピークスポーツ	
	落合久夫	高輪高校	
東京	○ 菅原幸雄	自営	
	栂野尾昌一	ヨネックス	
	宮本幸弘	ヨネックス	
	池田隆治	ミノヤスポーツ	
神奈川	○ 京屋孝治	日本石油	
	管敏明	管急送	
	細谷昇	関東自動車	
	石場隆雄	ヨネックス	
山梨	○ 松野辰也	自営	
	赤池稔	自営	
	飯島利也	勝沼町役場	
	吉田憲司	自営	
新潟	○ 坂上昭	第四銀行新潟駅前支店	
	鈴木裕	㈱三條機械製作所	
	飯塚芳英	岩通新潟販売㈱	
	小林正邦	小林工業㈱	

▶ 成 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
長野	○永坂幹夫	長野貯金事務センター	
	降旗克己	日産プリンス松本販売	
	奥原祐二	石川島芝浦機械	
	鎌田正幸	富士通長野工場	
富山	○今泉勉	高岡市役所	
	末坂進	高岡市役所	
	西本幸夫	高岡市役所	
	前田稔幸	三協アルミニウム工業㈱	
石川	○松下力	NTT北陸	
	舛田吉光	石川県体育館	
	酒井直人	ゴーセン北陸㈱	
	毛利達彦	金沢市役所	
福井	○寺崎由雄	敦賀市役所	
	坂井茂則	福井東養護学校	
	葛葉昌彦	敦賀工業高校	
	斉藤郁	福井県庁	
静岡	○滝正孝	富士写真フィルム㈱	
	井出裕雄	富士写真フィルム㈱	
	吉野智昭	日本自動変連機	
	住吉勇人	日本自動変連機	
愛知	○谷口寛	トヨタ自動車	
	坂本宏志	トヨタ自動車	
	坂井外喜男	トヨタ自動車	
	野呂徹	豊田工機	
三重	○西川勉	日本電装㈱大安製作所	
	片岡泰	日本電装㈱大安製作所	
	常山兼二	日本電装㈱大安製作所	
	中川智史	日本電装㈱大安製作所	
岐阜	○川合甲祐	広浦マーブル㈱	
	蘭和真	東海女子大	
	木内広史	東海女短大	
	横尾宣幸	大垣市総合体育館	

▶ 成 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
滋賀	○小田 隆司	高島高校	
	西村 龍夫	比叡平小学校	
	西村 金治	草津中学校	
	北橋 進	北大津高校	
京都	○佐々木 正司	三菱自動車工業㈱京都製作所	
	三橋 利彦	洛水高校	
	村尾 勉	同志社女子大学	
	平井 悟	京都中央信用金庫	
大阪	○岡上 充仁	大阪ケミカル商事㈱	
	谷田 尚嗣	比花学院高校	
	奥野 勉	NTT関西総支社	
	早水 栄治	大阪ガス	
兵庫	○神谷 衛	神鋼ファウドラー	
	片岡 正之	新日本製鐵広畑	
	山本 勝	大和製衡	
	塩飽 初	新日本製鐵広畑	
奈良	○本郷 毅彦	田原本町教育委員会	
	諸多 博之	奈良市奥田工房	
	貴田 昌史	フジチュー株式会社	
	村松 博	ゴーセン株式会社	
和歌山	○武藤 隆志	県立向陽高校	
	児嶋 智	南紀青少年スポーツセンター	
	佐々木 朝幸	県立体育館	
	中尾 孝司	住友化工	
鳥取	○小谷 章公	県立米子高校	
	出石 勉	西部健康増進センター	
	山本 浩	山陰アシックス工業	
	山下 幸夫	東伯中学校	
島根	○岩田 一	自営	
	岩本 彰	山陰合同銀行	
	福光 龍治	山陰カシオシステム	
	岩田 秀夫	島根魚連	

▶ 成 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
岡山	○中山睦雄	川崎製鉄㈱水島製鉄所	
	藤原道弘	川崎製鉄㈱水島製鉄所	
	平田重男	川崎製鉄㈱水島製鉄所	
	若林邦任	三井造船㈱玉野事業所	
広島	○青木義和	海田町教育委員会	
	笹口浩基	甘田市西高校	
	矢部隆司	賀茂高校	
	赤川雅美	広高校	
山口	○末廣秀樹	宇部興産㈱	
	坂本賢二	宇部興産㈱	
	重永光弘	重永石油	
	沖貞雄	宇部興産㈱	
香川	○辻本義文	四国貯蓄	
	上原明	全労済香川	
	六川利康	尽誠学園校	
	吉川和孝	プレイヤーズクラブ	
徳島	○富田善明	城東高校	
	増金秀行	増金商会	
	湯浅賢一	徳島大学	
	福家秋男	エイワ	
愛媛	○新名静夫	愛媛大学法文学部	
	門屋尚紀	㈱ダイキ	
	徳丸厚	アクト西条	
	堀江正之	大町農協	
高知	○坂本真人	㈲坂本洋服店	
	松井智治	スポーツショップフットワーク	
	上田徳明	道路メンテナンス	
	国沢昌弘	高知医大附属病院	
福岡	○鎗水浩吉	浮羽高校	
	佐田聡	西日本銀行	
	堂山武	北九州市役所	
	中村正已	西日本銀行	

▶ 成 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
佐賀	○久保信行	佐賀県庁	
	円城寺文雄	外町小学校	
	田辺理	加唐島小学校	
	田端寿美	佐賀医大	
長崎	○田中貞夫	三菱重工業㈱長崎造船所	
	大東良平	長崎市役所茂木支所	
	渕上竹見	市立深堀中学校	
	川久保暢宏	三菱電機長崎製作所	
熊本	○西田寿明	県立甲佐高校	
	工士恭司	ラケットショップオールマン	
	権藤浩二	県立第一高校	
	堺圭一	市立東野中学校	
大分	○足立昭一	大分市役所	
	西郷里公典	新日鉄	
	柳井洋	新日鉄	
	野畑末吉	中津市役所	
宮崎	○野中芳郎	宮崎市役所	
	松岡弘高	宮崎県庁	
	黒木雄二	第一糖業	
	満行孝一	飯野小学校	
鹿児島	○前園俊哉	鹿児島福祉事務所	
	東正樹	九州岡野エレクトロニクス	
	坂井孝	シゲオデンタルサービス	
	川路和利	鹿児島公共職業安定所	
沖縄	○大山基	沖縄県庁	
	石黒伸久	名護高校	
	下地敏彦	沖縄工業高校	
	富里一公	島尻養護学校	

▶ 成 年 女 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
北海道	○岡本　伝	地崎商事㈱	
	和田美津子	地崎商事㈱	
	加藤洋子	地崎商事㈱	
	小池かおり	札幌市スポーツ振興事業団	
山形	○清水秀裕	山形城北女子高校	
	東海林文子	㈱でん六	
	佐藤栄美子	日新小学校	
	近藤美知子	山形日本電気	
福島	○吉田邦男	㈱日立テレコム	
	千葉陽子	いわき短大	
	渡辺多喜子	中塩クラブ	
	石川雅子	若松女子高校	
東京	○殿川宣勝	NTT	
	久保知佳子	NTT	
	小飼真弓	NTT	
	松尾知美	NTT	
山梨	○久津川孝	県立甲府工業高校	
	岩崎映子	甲府ラケットショップ	
	野口英代	県立増穂商業高校	
	山田栄	山梨大学	
富山	○河合昭博	三協アルミニウム工業㈱	
	今川真理子	三協アルミニウム工業㈱	
	大谷鶴美	三協アルミニウム工業㈱	
	伏喜由美子	三協アルミニウム工業㈱	
石川	○東茂樹	倉庫精練㈱	
	彼島佳子	北國銀行㈱	
	小路和代	町立内灘中学校	
	水本幸代	北國銀行㈱	
愛知	○藤江至	日本電装	
	宮本美津子	日本電装	
	大屋幸恵	日本電装	
	松本清美	トヨタ自動車	

▶ 成 年 女 子

○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
大阪	○ 宇治 収	三洋電機株式会社	
	星野 由美子	三洋電気株式会社	
	秋元 美佐緒	三洋電気株式会社	
	磯崎 照枝	サントリー株式会社	
兵庫	○ 矢賀 雅人	三菱電機伊丹	
	白井 洋子	三菱電機伊丹	
	荻生 美奈子	三菱電機伊丹	
	大村 和代	三菱電機伊丹	
鳥取	○ 松下 泰司	JR西日本米子駅	
	福田 麻寿美	鳥取三洋電機	
	岡田 真理子	白兎養護学校	
	陶山 聡子	ナショナルマイクロモーター	
岡山	○ 藤原 航	三井造船㈱玉野事業所	
	紀井 晴美	松下電器㈱	
	岡 百合子	岡山市総合文化体育館	
	西林 昭子	備前市役所	
香川	○ 大森 博一	太洋物産	
	永井 明美	百十四銀行	
	中川 富美子	百十四銀行	
	桑田 和代	高松琴平電鉄	
福岡	○ 桶本 百合子	日本生命小倉支社	
	磯村 久美	ベスト電器	
	浜 マサ子	西日本銀行	
	藤 祐枝	ベスト電器	
熊本	○ 坂本 正	九州日本電気	
	大嶌 みどり	九州日本電気	
	森下 真由美	九州日本電気	
	林 美希	九州日本電気	
沖縄	○ 大城 義徳	浦添商業高校	
	山内 ひとみ		
	長嶺 美虹		
	平良 明子	電源開発株式会社	

▶ 少 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
北海道	○井口一司	札幌第一高校	
	村井秀樹	札幌第一高校	
	藤本謙治	札幌第一高校	
	横山匠	札幌第一高校	
青森	○宮崎雅秀	弘前工業	
	丸山孝彦	弘前工業	
	西村嘉訓	弘前工業	
	小野武	弘前工業	
岩手	○鬼柳孝夫	JR東日本北上電力区	
	渡辺清一	花北商業高校	
	中澤毅	花北商業高校	
	菊地敏幸	前沢高校	
埼玉	○大高史夫	県立越谷南高校	
	関根英勝	県立越谷南高校	
	石井隆	県立越谷南高校	
	鈴木秀二	上尾高校	
山梨	○金子寛	日川高校	
	輿石努	日川高校	
	岩佐延寿	日川高校	
	藤原尚一	甲府工業高校	
石川	○彼島重範	金沢市立工業高校	
	小池田基	金沢市立工業高校	
	武田修	金沢市立工業高校	
	見神雅之	県立七尾工業高校	
福井	○小原洋美	足羽高校	
	稲村高志	足羽高校	
	藤尾裕一	足羽高校	
	今井彰宏	勝山高校	
静岡	○斉藤俊仁	熱海中学校	
	岩崎智浩	伊東高校	
	山田宏之	伊東商業高校	
	山口剛	伊東商業高校	

▶ 少 年 男 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
滋賀	○藤上良信	比叡山高校	
	鈴木草麻生	比叡山高校	
	平井肇	比叡山高校	
	小河原崇	比叡山高校	
大阪	○近藤一生	柏原高校	
	藤井貞治	柏原高校	
	高橋康司	柏原高校	
	白浜智海	此花学院高校	
岡山	○小河原東仙	水島工業高校	
	横田豊和	水島工業高校	
	藤原正美	水島工業高校	
	平尾昌也	瀬戸南高校	
山口	○三浦捷治	柳井工業高校	
	田中貴光	柳井工業高校	
	吉岡哲夫	柳井工業高校	
	柳宏幸	柳井工業高校	
高知	○谷岡敏男	高知西高校	
	武田信秀	追手前高校	
	池寛正	高知商業高校	
	梶原卓	高知西高校	
福岡	○荒木秀文	伝習館高校	
	四方学	福大附大濠高校	
	吉田義利	福大附大濠高校	
	明神憲一	八大附高校	
熊本	○加治屋博文	ラケットショップオールマン	
	本山秀昭	熊本商科大学附属高校	
	高村誠也	熊本商科大学附属高校	
	廣瀧宗美	九州学院高校	
沖縄	○友利成寿	首里高校	
	金城学	糸満高校	
	儀間光吉	豊見城高校	
	金城勉	糸満高校	

▶ 少 年 女 子

○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
北海道	○谷浦　隆	札幌静修高校	
	岩井芳美	札幌静修高校	
	山根理江	札幌静修高校	
	沢田百合	札幌静修高校	
青森	○佐藤正明	千葉学園	
	乳井智秋	千葉学園	
	田中範子	千葉学園	
	三浦美紀子	千葉学園	
宮城	○片桐　勉	聖ウルスラ学院高校	
	金子奈保子	聖ウルスラ学院高校	
	立花久枝	聖ウルスラ学院高校	
	矢野直子	聖ウルスラ学院高校	
茨城	○小島一夫	常総学院高校	
	塚沢昌子	常総学院高校	
	鬼沢絹代	常総学院高校	
	物井あゆみ	常総学院高校	
栃木	○遠井稔男	小山城南高校	
	川村順子	小山城南高校	
	鈴木葉子	小山城南高校	
	仲山美奈	小山城南高校	
新潟	○佐藤秀夫	新潟青陵高校	
	捧　匡子	新潟青陵高校	
	高橋朱美	新潟青陵高校	
	加賀ゆかり	新潟青陵高校	
富山	○清水芳隆	県立高岡女子高校	
	亀谷志都	県立高岡女子高校	
	老田一恵	県立高岡女子高校	
	山崎真理子	県立高岡女子高校	
愛知	○伊藤芳樹	愛知淑徳高校	
	稲熊康子	愛知淑徳高校	
	森　ゆかり	愛知淑徳高校	
	葛谷実穂	愛知淑徳高校	

▶ 少 年 女 子　　○印は監督

都道府県名	監督・選手名	所属	備考
滋賀	○服部博司	比叡山高校	
	河村祐子	比叡山高校	
	田中晴美	比叡山高校	
	西山幸恵	大津商業高校	
大阪	○片岡輝明	四條畷学園高校	
	南里高子	四條畷学園高校	
	岩田良子	四條畷学園高校	
	水井妃佐子	四條畷学園高校	
岡山	○毛利清志	山陽女子高校	
	松王香音里	山陽女子高校	
	人見順子	山陽女子高校	
	河原美津己	山陽女子高校	
広島	○藤田雅史	鈴峯女子高校	
	久光由紀	鈴峯女子高校	
	宇土千佐子	鈴峯女子高校	
	安瀬原ひとみ	鈴峯女子高校	
愛媛	○逸見寛二	西条高校	
	加地身和子	西条高校	
	重松里江子	西条高校	
	矢野幹子	西条高校	
熊本	○工藤勇参	熊本中央女子高校	
	中原敬子	熊本中央女子高校	
	甲斐美和	熊本中央女子高校	
	宮村愛子	熊本中央女子高校	
大分	○吉田信之	昭和女子高校	
	磯崎京美	昭和女子高校	
	赤尾香	昭和女子高校	
	平野智子	大分女子高校	
沖縄	○末次正二郎	泊小学校	
	大城末子	糸満高校	
	山内美奈子	糸満高校	
	伊波由貴子	糸満高校	

男女総合（天皇杯得点）成績一覧表

区分 / 都道府県名		成年男子		少年男子		成年女子		少年女子		種別合計得点	競技得点算出順位	男女総合（天皇杯得点）成績				
		順位	種別得点	順位	種別得点	順位	種別得点	順位	種別得点			算出基礎 競技得点	種別勝得点優	参加得点	合計	順位
1	北海道															
2	青森															
3	岩手															
4	宮城															
5	秋田															
6	山形															
7	福島															
8	茨城															
9	栃木															
10	群馬															
11	埼玉															
12	千葉															
13	東京															
14	神奈川															
15	山梨															
16	新潟															
17	長野															
18	富山															
19	石川															
20	福井															
21	静岡															
22	愛知															
23	三重															
24	岐阜															
25	滋賀															
26	京都															
27	大阪															
28	兵庫															
29	奈良															
30	和歌山															
31	鳥取															
32	島根															
33	岡山															
34	広島															
35	山口															
36	香川															
37	徳島															
38	愛媛															
39	高知															
40	福岡															
41	佐賀															
42	長崎															
43	熊本															
44	大分															
45	宮崎															
46	鹿児島															
47	沖縄															

女子総合（皇后杯得点）成績一覧表

区分 / 都道府県名		成年女子		少年女子		種別合計得点	競技算出順位	女子総合（皇后杯得点）成績				
								算出基礎			合計	順位
		順位	種別得点	順位	種別得点			競技得点	種別勝得点優	参加得点		
1	北海道											
2	青森											
3	岩手											
4	宮城											
5	秋田											
6	山形											
7	福島											
8	茨城											
9	栃木											
10	群馬											
11	埼玉											
12	千葉											
13	東京											
14	神奈川											
15	山梨											
16	新潟											
17	長野											
18	富山											
19	石川											
20	福井											
21	静岡											
22	愛知											
23	三重											
24	岐阜											
25	滋賀											
26	京都											
27	大阪											
28	兵庫											
29	奈良											
30	和歌山											
31	鳥取											
32	島根											
33	岡山											
34	広島											
35	山口											
36	香川											
37	徳島											
38	愛媛											
39	高知											
40	福岡											
41	佐賀											
42	長崎											
43	熊本											
44	大分											
45	宮崎											
46	鹿児島											
47	沖縄											

過去の成績一覧表

◎第４回　昭和２４年　東京都　東京YMCA　（個人戦オープン）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子　単	東京　広田敏秀	北海道　佐藤保	東京　藤井光男
一般男子　複	東京　広田敏秀 藤井光男	神奈川　岡淳一 相馬万吉	北海道　佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川　吉田とよ子	愛知　吉沢千里	神奈川　遠藤文子
一般女子　複	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子	神奈川　小林歌子 中村たき	愛知　吉沢千里 後藤範子

◎第５回　昭和２５年　愛知県　栄小学校、白鷗小学校、東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京　広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川　岡淳一 相馬万吉次 小谷直道 松本武	北海道　佐藤保郎 村上三俊 葛西英守 若林
一般女子	神奈川　吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知　水谷鈴子 堀江綾子子 保田久照子 伊与田照子	北海道　伊藤絹代 安藤栄子 佐藤賀信 片岡京子
高校男子	北海道　石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知　石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川　岡道明 村松弘喬 江井実一 藤井昂

◎第６回　昭和26年　広島県　広大東雲分校、同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京　広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜　玉越忠治 大竹健司 大野和彦	愛知　藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知　堀江綾子 保田久子子 伊与田照子	石川　登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道　伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知　服部安治 野口勇 之松健一	石川　東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜　後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

◎第７回　昭和27年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 広田敏秀 岡道一 藤井昌雄 吉原秀明	北海道 石田裕二 神山周郎 葛西英俊 野坂豊三	東京 江井実 小宮敏 山崎章 佐藤芳 茂朗
一般女子	石川 貝原さえ子 登田悦子 高倉八重子 米衣絵子	東京 田中江子 中谷知子 生瀬成子 小野京子 寺子	愛知 堀江綾子 保田久子 伊与照子 水野美根子
高校男子	東京 望月文雄 倉田一彦 石木隆治	神奈川 新倉和男 関根英司 内藤弾則 伏島光明	石川 諸江秀一 井上晴夫 山本圭三 上田稔
高校女子	兵庫 広瀬延子 西尾貞子 小原美津子 笠一 関	山形 佐藤照子 五十嵐弘子 斎藤久美子 佐藤明	神奈川 大竹良子 竜野美代子 田島光子 中緑

◎第８回　昭和28年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 広田敏秀 佐治順豊 川崎順久 杉田博	東京 藤井光男 諸江秀一 相川十一 萩原誠	岐阜 大竹健司 松岡竜昭 丹羽哲三 林金太郎
一般女子	神奈川 遠藤文子 小林歌子 荒川智子	北海道 岡元津弘子 梅部貴久江 阿井悦子 荒重	石川 貝原さえ子 登谷悦子 島駒磨 町ヤス子
高校男子	北海道 片石藤兼敏 加藤川正則 長桁竜充 井谷啓男	石川 江尻桂三 辻直幸而 半田外健男 岡崎	神奈川 越川啓 花岡牧夫 折井利彦 内藤弘明
高校女子	宮城 西堀津富美子 谷藤本京子 佐川範子 松幸	香川 大西誉子 秋山武子 真鍋久子	神奈川 大川良子 藤田野光子 竜野美代子 波多野澄

◎第９回　昭和29年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	岐阜 玉越忠治 大竹健司 松岡竜三	愛知 野口勇 服部与治 稲熊貞夫	富山 清水正 釣谷友一 荒木亥男 久
一般女子	宮城 西堀藤子 佐津富子 谷範京子	石川 登原悦子 貝谷ま子 渋さえ信	愛知 保田久子 伊与照子 堀江綾子
高校男子	愛知 豊場健 御友広正 伊藤雅昭	石川 西村信 江尻嘉三 島桂昇	愛知 富沢健 伊豆内一 渡辺宏 潔
高校女子	福島 武田信子 伊藤桂子 尾形亨子	岡山 大森美 友嘉子 三文基子	愛知 大沢範子 大室美子 大竹泰子

◎第10回　昭和30年　神奈川県　神奈川体育館、鶴見女高体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜 大竹健司 松岡竜三 酒井弘	富山 釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島 武田信子 伊藤桂子	神奈川 荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道 梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京 永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川 北方匡 関功 米谷外喜彦	山形 生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山 友野文子 権田節子子 三宅基子	宮城 佐々木功子 三津節子 菅井静子	香川 永田豊子 藤田紙代 藤村怜子

◎第11回　昭和31年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ、生田中学（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 杉田博 佐藤芳明 佐藤昌久	大阪 上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山 毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城 西堀富美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山 友野文子 権田節子子 光本政子	兵庫 西尾貞子 加藤洋子子 金森奎子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 斎藤裕之	北海道 四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本竜一	山形 板垣隆房 山岸重考 鎚水勝志
高校女子	香川 横井キヌエ 井上桂子子 山下衣子	岡山 小林桂子 戸田寿子子 根岸絢	宮城 三浦節 沼倉英子 三浦与志子

◎第12回　昭和32年　静岡県　富士市体育館、富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京 望月文雄 力石潔 鈴木俊三	北海道 島中良夫 星野嘉隆 神山修爾
一般女子	香川 横井キヌエ 井上桂子子 山下衣子	岡山 権田節子子 光本政子 小林桂子	神奈川 大川良子 小林歌子子 石川英子
高校男子	神奈川 小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川 酒井明夫 村田和男 堀知章	島根 平野隆 森脇英祐 富田豊
高校女子	香川 田島外茂子 山下久子子 宮下ツヤ子	静岡 掛橋良子 西村弘子子 佐野禎子	石川 有田順子 長田悠喜子 松田富美子

◎第13回　昭和33年　富山県　高岡女高体育館、南星中体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 片越 石川 兼 敏啓 花岡 牧 夫	神奈川 杉佐 田藤 博芳 佐藤 昌 朗久	大阪 高上 谷田 芳益 松王 清 弘志
一般女子	香川 横山 井下 キヌ エ子 田島 久外 茂子	神奈川 小大 林川 歌良 二見 文 子子	岡山 権光 田本 節政 小林 桂 子子
高校男子	山形 金板 森垣 義善 弘憲 小林 賢	東京 鈴宮 木永 幸武 貝戸 春司 肇	奈良 森榎 晃高 一嗣 中川 安 正
高校女子	香川 藤有 本木 文み 子子 福本 和 子	富山 高中 島島 洋玲 子子 栂野 尾 桂 子	石川 山川 崎 紀久 子子 竹 多 節光 子

◎第14回　昭和34年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 佐佐 藤藤 芳昌 朗久 関口 潔	石川 新酒 田井 正治 治夫 村田 和 男	大阪 松小 王松 清康 志博 小松 貢
一般女子	神奈川 大二 川見 良文 子子 椎野 みや 子	香川 横山 井下 キヌ エ子 宮川 久ツ 子子	富山 大高 坪島 あい 子子 中島 洋玲 子
教員男子	神奈川 杉山 田本 博剛 石原 義 治	大阪 佐宝 藤来 茂敏 雄夫 北野 敬四郎	東京 平市 田川 登志 郎司 柳田 直 規
高校男子	宮城 渡堀 部江 紘保 一雄 甲斐 昭 宏	北海道 竜竹 瀬中 康将 彦光 梅木 聡	神奈川 山岡 本崎 洋恵 彦三 小坂 拓 充
高校女子	香川 蔵有 本木 文み 子子 福本 和 子	静岡 伊志 沢村 利セ 子子 石原 待 子	富山 栂橋 野尾 桂美 子子 酒井 美智 子

◎第15回　昭和35年　熊本県　菊地市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 永北 井島 栄克 一英 貝戸 肇	神奈川 佐遠 藤藤 芳啓 朗治 砥石 勤	富山 荒扇 木沢 男徳 大野 幸 雄
一般女子	富山 高中 島島 洋玲 子子 栂野尾 桂 子	秋田 脇木 坂村 チ政 エ子 横山 満 子	静岡 野伊 村沢 江子 志津 村 セ 子
教員男子	石川 北河 方原 匡夫 茂藤 晴 寛	神奈川 杉山 田本 博剛 石原 義 治	秋田 宮脇 越坂 三隆 鈴木 裕 司
高校男子	神奈川 岡小 崎坂 恵拓 三充 長谷川 敏 彦	山形 佐出 藤沢 勝勇 彦男 高橋 清 一	新潟 阿笠 部原 孚淳 伊藤 洋 祐
高校女子	富山 橘酒 井田 美智 子子 平敦 子	香川 横林 井森 文信 子子 久 子	秋田 高石 橋沢 奉子 子子 長崎 七文 子

◎第16回　昭和36年　秋田県、象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京　片石兼敏 永井栄一男 星野忠男	神奈川　佐藤芳朗 岡崎恵三治 遠藤啓	山形　板垣隆房 出沢勇男任 北村
一般女子	富山　栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田　木村政子子 横山満奉子 高橋	香川　宮川ツヤ子 福井知子子 横井文子
教員男子	石川　北方匡夫三 河原山晴圭 江尻圭	神奈川　杉田博郎 岡田敬三 秋山捷彦	秋田　脇坂安隆 鈴木裕司喜 高橋弘
高校男子	新潟　大竹紘一 安沢武司昭 星野義	北海道　中村富光 松浦潔治 松本直	山梨　平田勲 秋山真男博 早川
高校女子	山形　佐藤弘子子 小笠原詔子子 矢口淳子	静岡　高木紀子江 天野博子 影山昭	秋田　伊藤美津子 横山綾モモ子 大門モモ

◎第17回　昭和37年　岡山県　岡山県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京　星野忠男 富田豊雄 井門鎮雄	神奈川　遠藤啓治 鈴木敏勝三 岡崎恵	愛知　北島克英雄 小宮好昭一 長谷川陽
一般女子	香川　福本知子子 横井文子子 森久子	富山　橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田　木村政子子 横山満奉子 高橋
教員男子	石川　北方匡夫三 河原山晴圭 江尻圭	神奈川　杉田博彦 秋山捷郎 岡田敬三	秋田　脇坂安隆司光 鈴木裕俊 真崎
高校男子	新潟　本田務男 荒川治善紀 阿野	東京　西野征夫誠 須田一孝 関一	青森　奥谷国昭勇明 長谷川義 三上
高校女子	富山　橘妙子子 室崎光和子 河村	秋田　大塚シ子子 大門トヨ 間瀬幸	岡山　高塚淳百子枝子 重放泰 七村

◎第18回　昭和38年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知　小宮好雄憲 坂垣善隆 稲熊整	東京　井宮鎮雄司一 門永武 堺栄	島根　星野忠男豊茂 富田春 山崎
一般女子	秋田　横山満子子 高橋奉子子 長崎文子	香川　田島外茂子 横井文子 森久子	富山　栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川　北方匡夫三 河原山晴圭 江尻	神奈川　杉田博郎 岡田敬三 秋山捷彦	大阪　大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟　星野義夫 裏田口光一男 樋	東京　関一誠 中村安正 古屋和	北海道　福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木　前沢和子子 松本昭子子 小出千代子	新潟　後藤和子子 茂沢純子 竹内泰	北海道　高森幸子子 高田裕子 村田泰

◎第19回　昭和39年　新潟県　県立三条高等学校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知　小板岩　雄憲昭	東京　永井堺　一司一	石川　新村沢　治男力
一般女子	香川　横田森　子子子	秋田　横高長　子子子	岐阜　高天岩　子江子
教員男子	新潟　渡永佐　一司夫	石川　北河江　匡夫三	神奈川　杉岡秋　博郎彦
高校男子	新潟　鈴神片　造夫毅	奈良　森橋真　芳修一	富山　立盛高　昭之則
高校女子	栃木　植大武　子子枝	新潟　竹石高　子子子	秋田　佐中加　ミ子子

◎第20回　昭和40年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知　小板長　雄憲彦	東京　堺宮田　一司六	香川　東山牟　昭朗顕
一般女子	岐阜　高天高　子江子	香川　横森加　子子子	新潟　後石竹　子子子
教員男子	石川　河北村　夫匡一	北海道　杉笹中　良剛志	岡山　毛三柳　清勝敏
高校男子	富山　桐寺中　一之雄	岐阜　堀杉尾　幸修則	奈良　真河滝　才一一
高校女子	大阪　近才池　枝子子	岐阜　高稲川　子子子	栃木　上石吉　美子子

◎第21回　昭和41年　大分県　日田林工高体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知　小板安　雄憲司	山梨　岡秋三　三男勇	大分　宮田春　司也一
一般女子	岐阜　高天高　子江子	新潟　後石加　子子操	秋田　横高加　子子子
教員男子	北海道　杉安上　良彦夫	石川　河北原　夫匡一	岡山　三毛柳　勝志敏
高校男子	新潟　本高奥　次宣作	宮城　我市寒　郎清利	香川　西西小　一弘庸
高校女子	山形　小遠伊　茂子子	新潟　本日高　美子薫	岡山　湯浦佐　恵子子

◎第22回　昭和42年　埼玉県　越ケ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	愛知 板垣安 憲善小 司武林 宏一	神奈川 平島本 彦一洋 治啓	東京 堺上田 栄十平 一六八
一般女子	香川 有横山 木井本 子子江 みと文真	新潟 五後加 十嵐藤藤 明和 美子操	岐阜 高天虫 木野賀 紀博雅 子江子
教員男子	富山 清正松 水木山 隆郎之 芳史信	北海道 杉安上 田達山 良彦夫 茂惟功	宮城 加渡菊 茂部地 和紘 夫一功
高校男子	富山 米松谷 田島口 実保寛	奈良 滝小葛 野林輪 一昭一 公正博	宮城 門山木 間田戸 幹哲純 夫夫一
高校女子	新潟 相金高 沢子坂 子子薫 マ知美	香川 小竹山 片森下 子子美 恵千経清	栃木 田枝印 仲波 枝子子 美加和

◎第23回　昭和43年　福井県　福井県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 岡秋田 崎山中 恵真 三男登	神奈川 小吉渡 島良辺 平一人 一悠直	東京 堺西関 栄一一 野 一征誠
一般女子	岐阜 高天安 木野藤 子江子 紀博久美	東京 高水田 橋野仲 子江子 も夜津 と小美	新潟 五後小 十嵐藤林 明和邦 美子子
教員男子	熊本 南工芦 藤原 治参身 直勇健	石川 北村原 方西 匡一一 栄	岡山 毛三柳 利宅本 清 志勝敏 堯
高校男子	富山 二草布 上島目 博治茂 敏正	山形 遠田伊 藤所藤 男男臣 好光政	岐阜 岩後足 田藤立 昇宏男 路守
高校女子	大阪 平柴高 山山崎 子子子 泰きよ 弘	香川 宮福赤 武本沢 子子子 泰幸ひろ	新潟 堀竹大 川中竹 子子子 美栄礼由 里

◎第24回　昭和44年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 窪秋野 田山田 恵真秀 三男応	神奈川 小渡坂 島辺本 平人二 一直聖	東京 堺西関 栄一一 野 一征誠
一般女子	岐阜 高天高 木野橋 紀博千 子江美 代	東京 高田水 橋中野 子江子 も津夜 と美小	京都 永山岡 井下崎 り子子 おか枝三 繁
教員男子	熊本 西工芦 田藤原 明参身 寿勇健	岡山 毛三柳 利宅本 清 志勝敏 堯	石川 北原村 方西 匡一一 栄
高校男子	新潟 本小九 間泉原 亨司敏 正	群馬 内桐渡 田生辺 夫郎稔 通次台	奈良 管岡山 原田本 貴久幸 弘昇繁
高校女子	大阪 柴高大 山崎場 子子美 きよ弘照	岐阜 及脇紅 川田谷 子子子 恵和島	栃木 望石阿 月崎津 か子子 ずし茂 まさ

◎第25回　昭和45年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	山梨 窪田秋野 恵山田 真秀 三男応	東京 池梅鈴 田尾木 信昌健 孝一二	神奈川 小渡坂 島辺本 一直聖 平人二
一般女子	新潟 竹相後 中沢藤 悦マチ和 子子子	岐阜 高天桑 木野原 紀博富 子江子士	栃木 松石望 本崎月 昭喜代 子子かしず
教員男子	岩手 佐々佐 木木沢 彦邦和 士夫彦	石川 北原松 方本 栄忠 匡一之	熊本 西工芦 田藤原 寿勇健 明参身
高校男子	奈良 巽竹西 内川 康繁 司真美	石川 銭谷村 欽勇信 治治吾	岩手 高佐佐 橋藤藤 信吉 夫壮雄
高校女子	大阪 西秋秋 尾本本 理代八 子美子幸	栃木 小藤池 林井田 敏幸静 枝子江	香川 川森田 東所 秀清静 美美子

◎第26回　昭和46年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 渡小宮 辺島川 直一秀 人平樹	山梨 窪秋岩 田山下 恵真一 三男雄	岐阜 森河安 芳田藤 夫満治
一般女子	新潟 鈴後本 木藤間 明和恵 美子子美	神奈川 杉味秋 田蔓山 良とも陽 子子子	北海道 田高今 村野川 静美喜 子子子
教員男子	滋賀 久保藤 田原上 良健良 昌二信	和歌山 森中佐 西藤 隆味伸 詳光	熊本 本南工 郷藤 節直勇 生治参
高校男子	新潟 土鈴佐 田木野 征直 雄裕行	和歌山 山倉岡 本内 茂樹徹 成	奈良 西佐中 川野井 繁基 美弘夫
高校女子	大阪 西秋秋 尾本本 子美子 理代八 幸	福島 千宮木 葉内村 陽みす 子子江瑞	岡山 林平三 田宅 美寿喜 子江美一

◎第27回　昭和47年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 小渡宮 島辺川 平人樹 一直秀	東京 鈴池梅 木田尾 二孝一 健信昌	山梨 窪秋岩 恵田山 三男雄 真下一
一般女子	東京 湯竹石 木中崎 恵子子 博悦茂	愛知 橋池富 本田居 代江子 香静康	香川 小小森 片西 子代美 恵幸清
教員男子	和歌山 森中門 西間 隆味夫 詳幹	栃木 別斉森 井藤田 晃佶昇	石川 北原長 方谷川 匡一進 栄
高校男子	奈良 中南辻 井田 夫正弘 基義敏	石川 原山谷 下島 夫行男 敏敏助	岐阜 古角後 西田藤 悟勝一 純
高校女子	大阪 秋高徳 本田田 子子子 幸幹敦	山形 矢本今 口間田 子子子 洋浩真	千葉 山平瀬 田野野 子代美 尚美清

◎第28回　昭和48年　若潮国体　千葉県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	神奈川 小島一平樹行 / 宮川秀教 / 笹井行	東京 関誠一孝 / 梅野尾昌 / 池田信	愛知 本松谷順次保寛 / 間島口
一般女子	東京 湯相竹恵子子 / 木沢中博マチ悦	香川 森川清美美生 / 東尾秀 / 長弥	岐阜 天広日野沢博功悦江子子 / 比野
教員男子	滋賀 藤藤藤英信二 / 上上原良良健	石川 原長和谷川田栄一進修	山形 永高斉井山藤昌和司三夫
高校男子	富山 西梶上村川正博治美之雄	福島 寺矢五田部嵐芳弘繁光之	奈良 池松坪田重内文恵利昭三夫
高校女子	大阪 徳高植田田敦幹恵子子子美	干葉 山平瀬田野野尚子代美干清	山形 堀清福田水原正礼友子子子

◎第29回　昭和49年　水と緑のまごころ国体　茨城県石岡小学校体育館　石岡二高体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	一位	二位	三位
一般男子	東京 田池梅今尾井信昌茂孝一満	神奈川 島小宮笠川井一秀教平樹行	愛知 松本谷島間口順保次寛
一般女子	東京 石今柴崎田山茂真き知よ子子子	香川 田山川所口東静豊秀子子美	北海道 田高藤村野島静美百子干子
教員男子	和歌山 門武森間藤幹隆夫志隆	石川 原長高谷川来栄秀一進夫	茨城 佐関大藤本川利昌健昭和太郎
高校男子	山形 米中加山島藤孝俊信二彦之	奈良 塚小村本倉田良久信一和博	福井 長諏谷川和村博芳幸幸博平
高校女子	新潟 関大佐根塚藤和ソ由子エ子	香川 牛片渡田山辺真干幸美子子	大阪 植石北野川村恵好寿美弥子子

◎第30回　昭和50年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県立松坂高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	神奈川 小島一平樹行 / 宮川秀教 / 笠井	東京 池梅銭田尾谷信昌欽孝一治	富山 河村泉今米博和之勉男
	教員	石川 原長和谷川田栄一進修	群馬 今関桐井生勇俊台司夫次郎	宮城 渡木白部戸岩紘純良一一治
成年女子		東京 湯池柴木田山博美みよ恵加子	香川 川田山東所口秀静豊美子子	岡山 石三藤田田原雅明敦子美子
少年男子		奈良 吉富田岡田島浩夫司伸章裕	石川 宮酒坂森井本庄直宏吉人志	宮城 橘沼宍川沢戸光隆孝隆夫
少年女子		大阪 植北石野村川子子子美弥恵寿好	三重 谷槇野口野崎美子花元いく知	香川 前渋金川谷崎代子子保加茂美

◎第 31回　昭和51年　若楠緑体　佐賀県立牛津高校体育館　牛津町立牛津中学校体育館　（総合優勝　石川県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	神奈川 小島一平樹 宮川秀行 笠井教行	富山 今泉勉男 牧野光和 米沢和男	石川 相川進隆 米正内 堂谷均
	教員	石川 原栄一 長谷川進修 和田	群馬 関俊夫司 今井勇台次郎 桐生	和歌山 門間幹夫志樹 武藤隆茂 山本
成年女子		東京 湯木博恵子 石崎茂子子 今田真知	香川 石田原英子子 牛所静美 田真由	大阪 西尾真理子代 谷秋本美津子 秋幸子
少年男子		石川 重山成生均 森田昌嗣 坂本	滋賀 北橋博進司武 西山堀 西	香川 平野勝彦明二 上木原敬
少年女子		大阪 石川好子子 平久美子子 河村茂美	新潟 青木恵子子 藤井良子子 佐藤友子	東京 徳永順子子 松枝睦子子 永野ふみ

◎第 32回　昭和52年　あすなろ国体　青森県浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	埼玉 尾崎幹雄雄 飯野佳雄雄 土田証	東京 池田信孝一 梅野尾昌治 銭谷欽	神奈川 小島一平行 笠井教敏弘 辻
	教員	石川 原栄一進光 長谷川 田吉	群馬 今井勇司夫 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山 門間幹夫樹和 山本茂正 米山
成年女子		東京 湯木博恵加子 池田美茂子 池	大阪 西尾真理子子 谷秋本美津子 秋幸子	香川 石原英子子美 田所静美 牛田真由
少年男子		滋賀 西山博司司樹 矢部忠和 山田	栃木 角田光永明忠 久関郷根 俊	青森 丹藤勇一悦二 楠美内誠俊 島
少年女子		大阪 平山子美子 河村美子 原口久茂恵	高知 浜田由理香枝 田村圭史 寺	青森 葛西明子子 山下奈々代 柳沼瑞

◎第33回　昭和53年　やまびこ国体　長野県塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	千葉 田所光和男博夫 大場龍 西村	新潟 棒勇裕 鈴木法男 丸山	石川 相川進 米正隆 堂谷内均
	教員	石川 長谷川進光修 田吉 和田	群馬 今井勇司夫 栗原恒和 岩崎盛	熊本 工藤勇参悟 稲津中芳 田
成年女子		大阪 谷本代 秋美津子 東林幸子 海文	福岡 樋本百合子 丸山口富子 山峰江	栃木 沼能山久裕子子 日向野藤枝 日
少年男子		熊本 本石藤憲二章 権藤上俊哲 井	山形 桜井嵐人弘徳 五十貝雅正英 須	滋賀 保科田正悟浩司 横川嶋栄
少年女子		新潟 月岡広美枝子 中沢一優 斉藤	栃木 上野加代子子 高田康里美 海賀	大阪 合川裕子子 原口恵ス 北田ミ

◎第34回　昭和54年　日本のふるさと宮城国体　宮城県西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		一位	二位	三位
成年男子	一般	千葉 所場光男博之 田本和富 大織	神奈川 島一平清 小橋敏明 高 菅	北海道 遠藤好男 木村敏男 九原正敏
	教員	石川 川谷進 長田修光 和 吉	群馬 今井勇司夫博 栗原恒智 鏑木	滋賀 藤原二信之 藤原健良 脇坂重
成年女子		栃木 山野裕子 日向藤枝代 大和子	大阪 林海文子子 西口明恵子 葛原	香川 平井佐代子 山田高子子 前川加代子
少年男子		熊本 権藤浩二介章 村上英哲 井上	香川 岡野佳治太史 小竹西田佳	栃木 馬場良浩正志 小野口島正 大
少年女子		大阪 北田スミ子子 植田ミ出干代 富田美子	新潟 藤井直子子子 遠藤藤岡え栄 富	熊本 川添安代子 高峯内和子 陳貴美子

◎第35回　昭和55年　栃の葉国体　栃木県真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	東京 今泉勉隆博 米正敏 二上	石川 長谷川進光均 田谷内吉 堂	神奈川 小島一平治 池田隆明 菅敏
成年女子	東京 端洋護子 渡多喜子 高辺岸陽	滋賀 谷津代生子 若村美弥 阪口典	愛知 小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子
少年男子	滋賀 山本裕幸夫二 竹端英進 松浦	栃木 大島正志円樹 大堀村正 戸	熊本 井上哲章 伊東幸男 福田和幸
少年女子	熊本 高峯和子子 陳·森内貴美子 森山弘美	大阪 松田全代織美 新木千升 尾崎	新潟 野上満子 山内美子子 山田登美子

◎第36回　昭和56年　びわこ国体　滋賀県大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	富山 今泉勉隆永 米正 林加	青森 佐藤光伸茂美 須藤英 村元	群馬 今井勇司行博 秋庭克智 鏑木
成年女子	東京 湯木博恵子美 高岸陽広 月岡	滋賀 谷津代代子 西村美千理 磯野恵	大阪 河村茂美 平久美子 葛西明子
少年男子	滋賀 松浦進二泰昌 片岡泰 辻田	山梨 松野修二次二 宮健康 宮	石川 羽田義仁博 村松照 宮本啓
少年女子	熊本 陳内峯子子 高貴尚美 森山弘	香川 山内佳子子 佃貴 永井明美	新潟 山内美子 石崎咲知子 本田佳代子

◎第37回　昭和57年　くにびき国体　島根県大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	群馬　今井勇司 鏑木智博 秋庭克行	富山　今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道　遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山　河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪　河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡　山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀　西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川　山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉　長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪　松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本　森山弘美 高峯尚子 青木きよみ	栃木　三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

◎第38回　昭和58年　あかぎ国体　群馬県桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	群馬　今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	新潟　鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡　後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山　河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡　川島直子 白松千加子 原田純子	東京　枝美代子 月岡広美 高峯尚子
少年男子	熊本　川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫　佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良　見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪　鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本　上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟　原田真理恵 本田みどり 川野名智美

◎第39回　昭和59年　わかくさ国体　奈良県田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	熊本　工士恭司 江藤正治二 権藤浩	群馬　今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	奈良　辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪　葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川　伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京　枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀　江藤裕樹 中川健 中川康	富山　平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉　松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪　新木貴子 今村薫 山田陽子	新潟　若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森　徳光由美子 谷地春子 西田美和子

◎第40回　昭和60年　わかとり国体　鳥取県立由良育英高体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一	群馬 今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知 坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子子 山内美子	大阪 高峯和子 星和枝 平山美恵子	山形 東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉 生井沢勝美 菊地修 石橋隆	石川 気谷篤人 山本明彦 中川守	熊本 浜北和彦 中村徳裕 小本義久
少年女子	熊本 田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟 小池由扶子 青戸香織 捧匡子	青森 横手智江美 平間由紀 乳井智秋

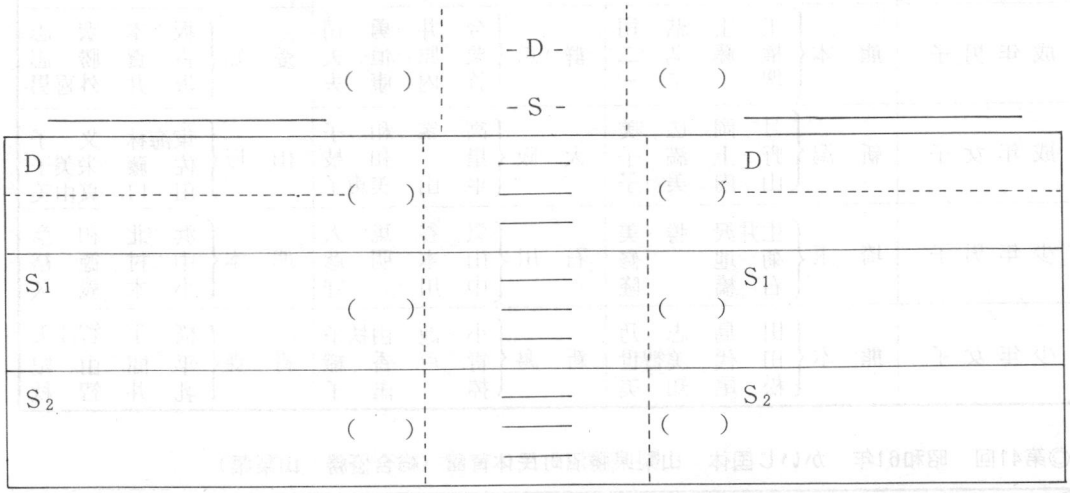
◎第41回　昭和61年　かいじ国体　山梨県勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

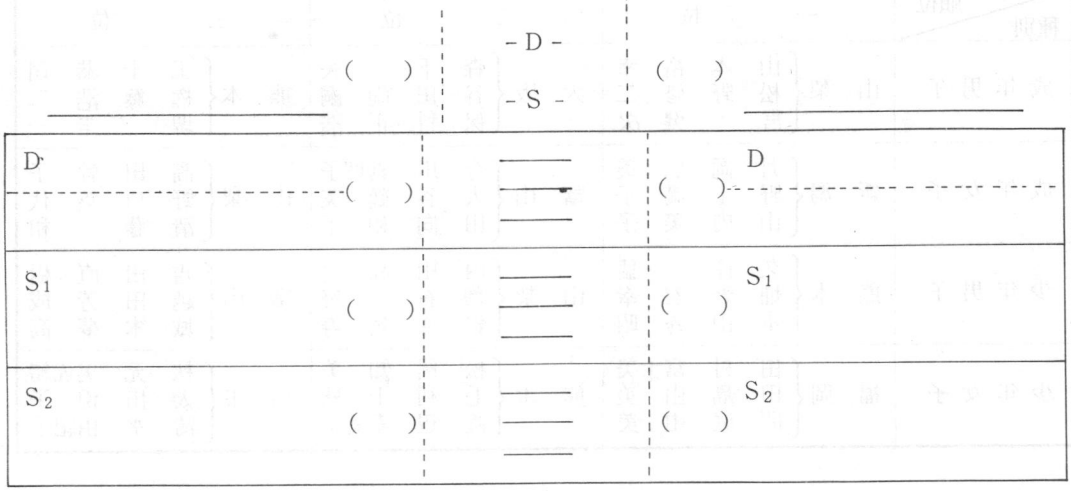
種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子	山梨 山本裕幸 松野修二 宮健次	大阪 森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子子 山内美子	富山 今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨 高田幹子 野口英代 清藤和
少年男子	熊本 久住猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨 内田高史 輿石努 岩佐延寿	富山 吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡 田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本 松尾知美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉 秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

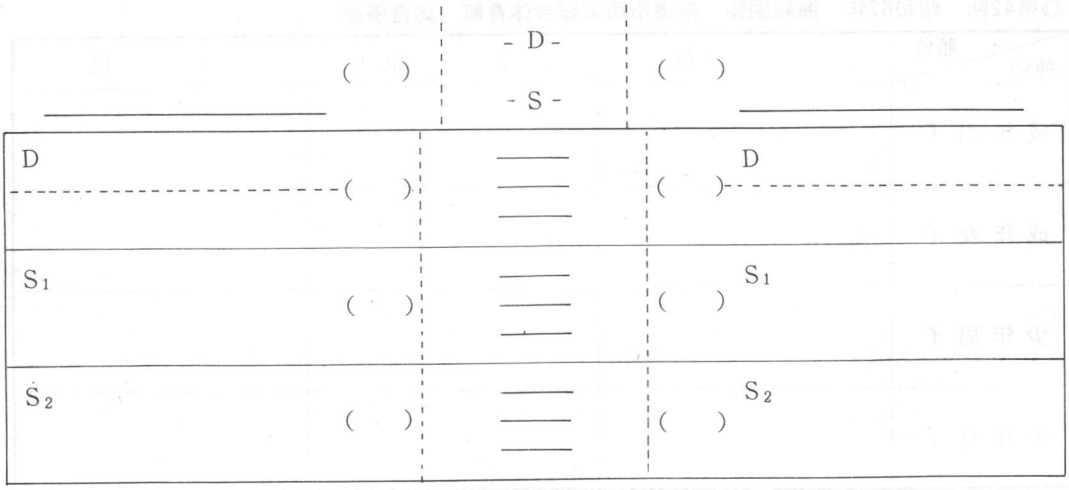
◎第42回　昭和62年　海邦国体　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　　）

種別＼順位	一位	二位	三位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

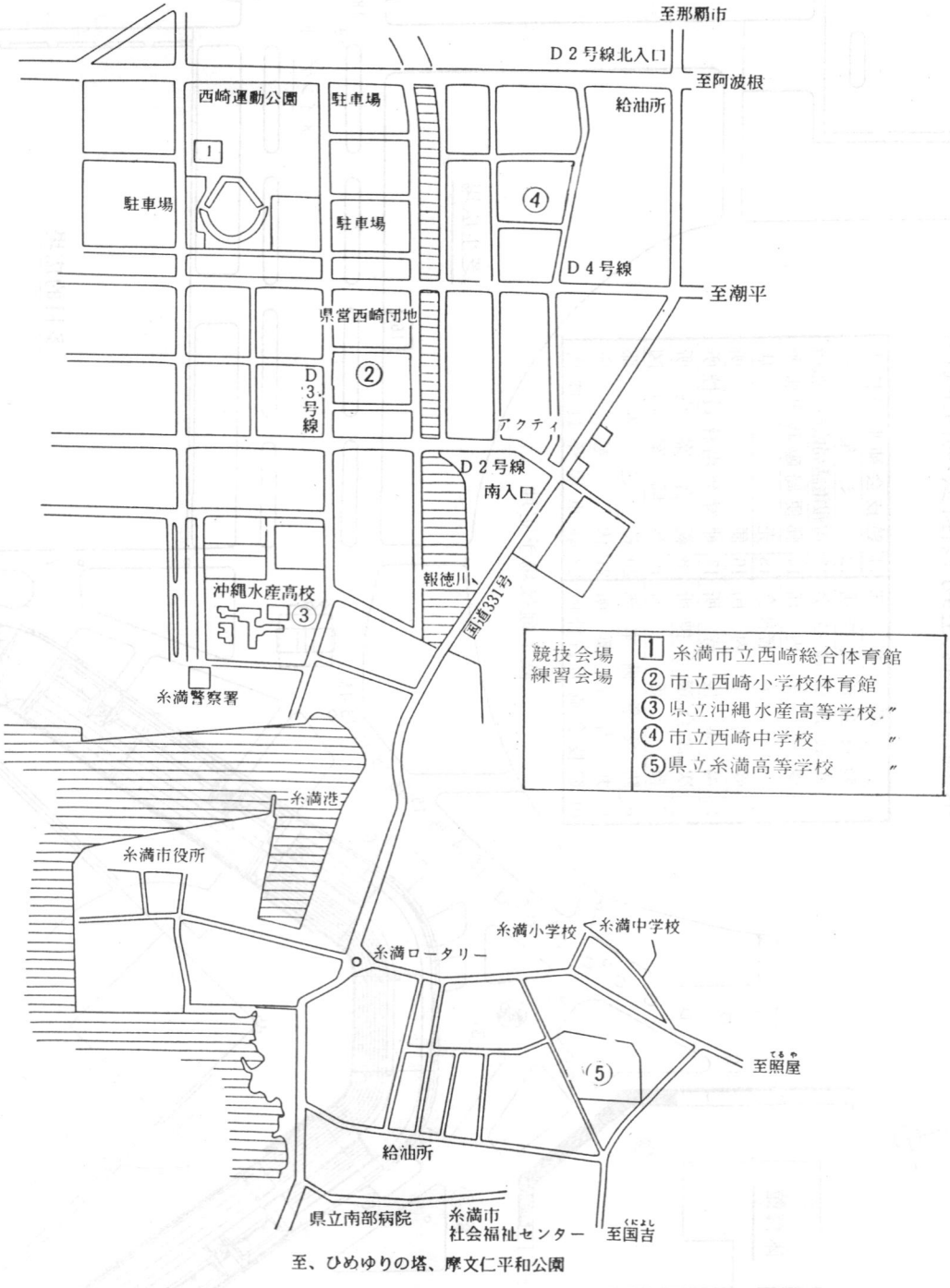
競 技 記 録



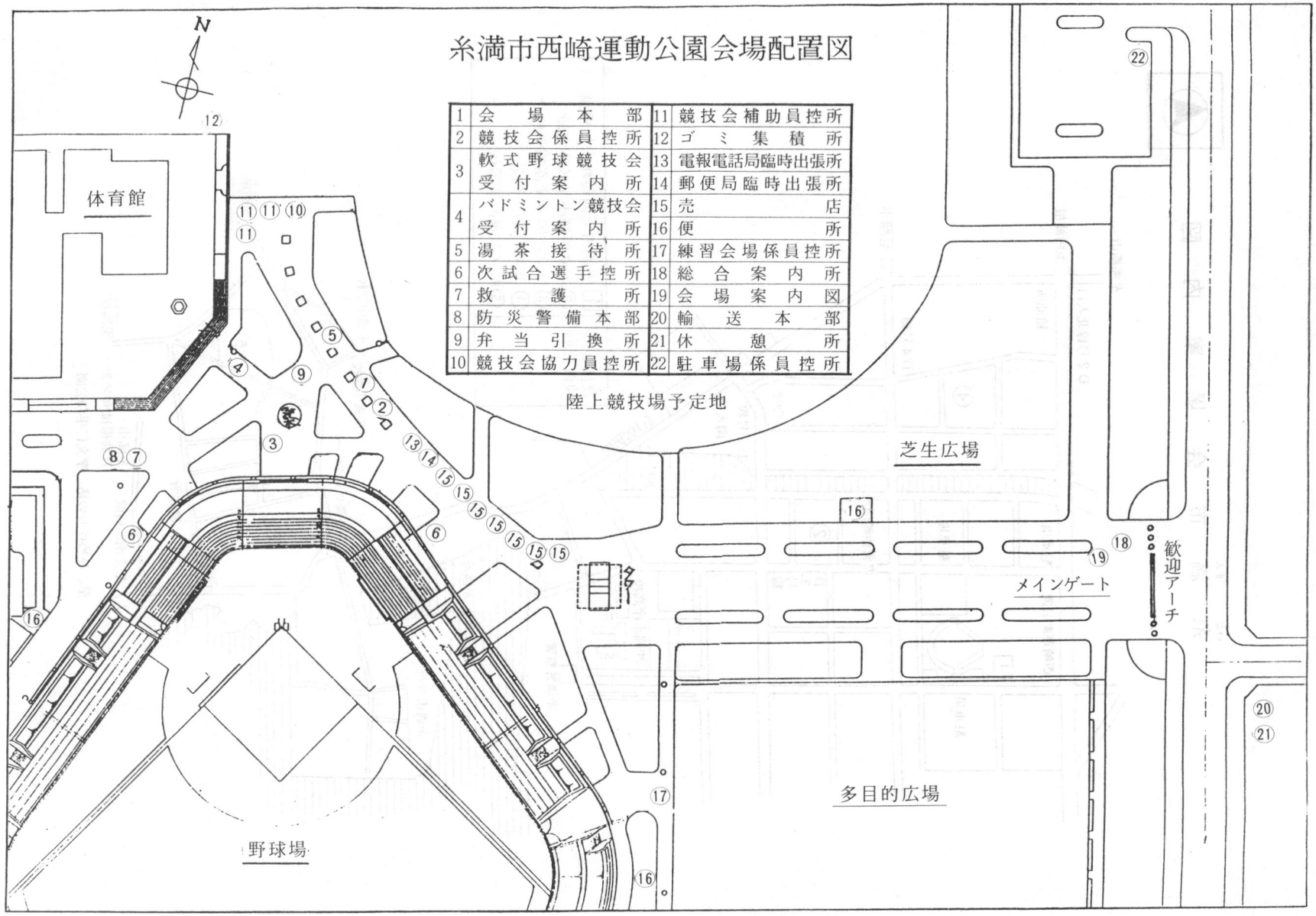




糸満市会場案内図


至那覇市
D２号線北入口
至阿波根
西崎運動公園
駐車場
給油所
駐車場
駐車場
④
D４号線
至潮平
県営西崎団地
②
D３号線
アクティ
D２号線
南入口
報徳川
国道331号
沖縄水産高校
③
糸満警察署
糸満港
糸満市役所
糸満小学校
糸満中学校
糸満ロータリー
⑤
至照屋
給油所
県立南部病院
糸満市
社会福祉センター
至国吉
至、ひめゆりの塔、摩文仁平和公園
競技会場
練習会場
① 糸満市立西崎総合体育館
② 市立西崎小学校体育館
③ 県立沖縄水産高等学校〃
④ 市立西崎中学校〃
⑤ 県立糸満高等学校〃

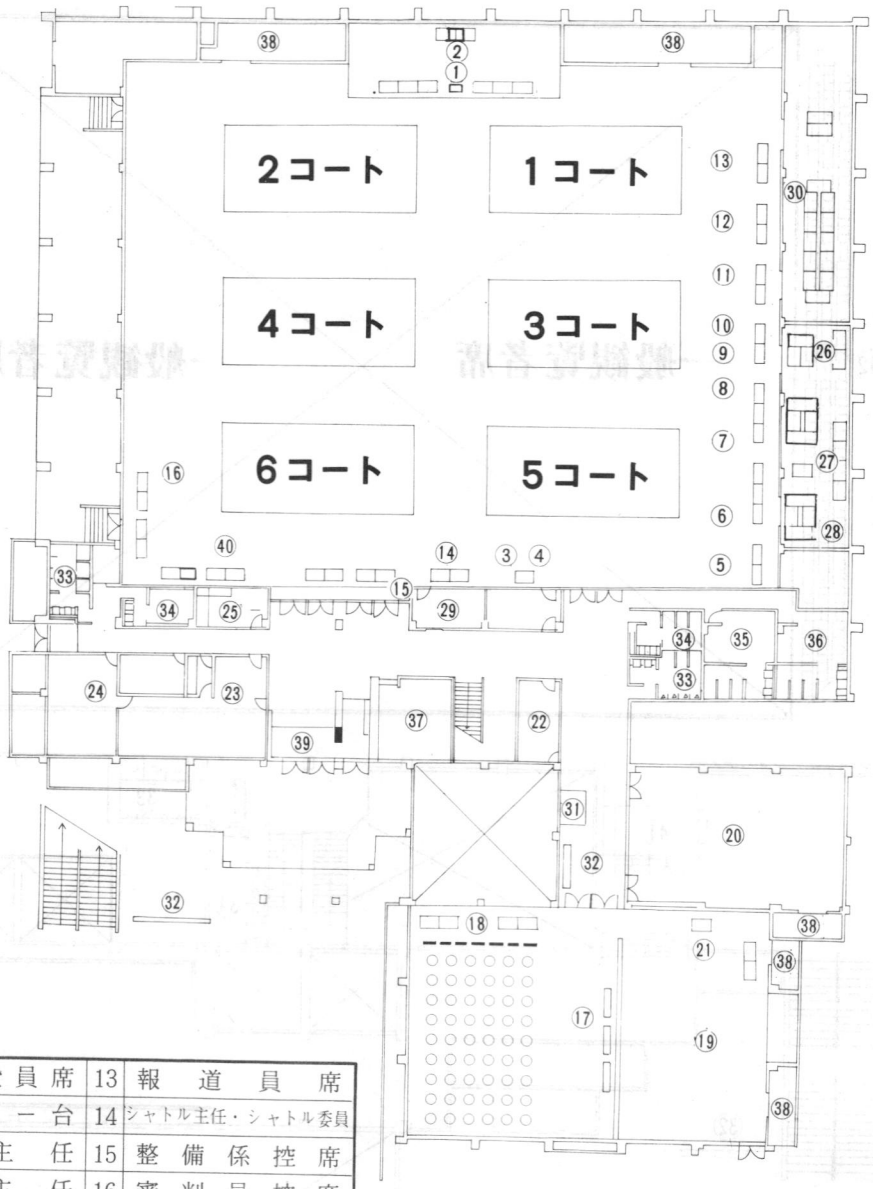
糸満市西崎運動公園会場配置図



1	会場本部	11	競技会補助員控所
2	競技会係員控所	12	ゴミ集積所
3	軟式野球競技会受付案内所	13	電報電話局臨時出張所
		14	郵便局臨時出張所
4	バドミントン競技会受付案内所	15	売店
		16	便所
5	湯茶接待所	17	練習会場係員控所
6	次試合選手控所	18	総合案内所
7	救護所	19	会場案内図
8	防災警備本部	20	輸送本部
9	弁当引換所	21	休憩所
10	競技会協力員控所	22	駐車場係員控所

競技会場配置図

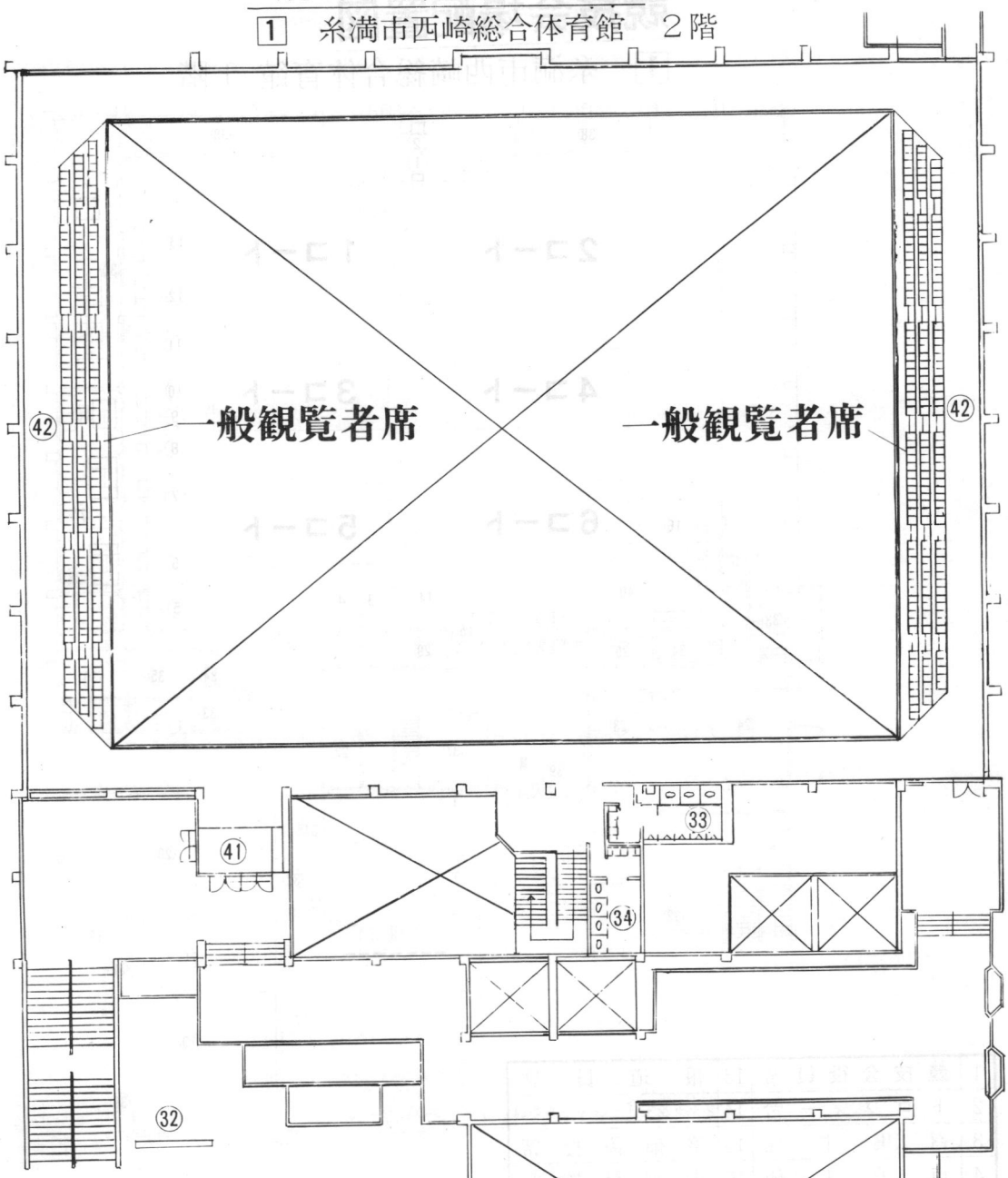
1　糸満市西崎総合体育館　1階



1	競技会役員席	13	報道員席	25	総合成績計算委員室 県記録送信員室	33	男子トイレ
2	トロフィー台	14	シャトル主任・シャトル委員	26	印刷室	34	女子トイレ
3	召集主任	15	整備係控席	27	記録本部	35	男子更衣室・シャワー室
4	点示主任	16	審判員控席	28	総務委員	36	女子更衣室・シャワー室
5	審判長・副審判長	17	選手集合所	29	シャトル保管所	37	談話コーナー
6	競技委員長・競技副委員長	18	召集委員席	30	競技役員控室	38	器具庫
7	進行主任・進行委員	19	補助員控席	31	速報箱	39	選手・監督・関係者出入口
8	放送主任・放送委員	20	選手・監督控室	32	組み合せ掲示板（2ヶ所）	40	線審員席
9	記録主任・記録委員	21	点示委員席				
10	掲示主任・掲示委員	22	オーダー用紙交換所				
11	総務・競技委員	23	筆耕室				
12	報道主任・報道委員	24	競技会役員控室				

観覧席配置図

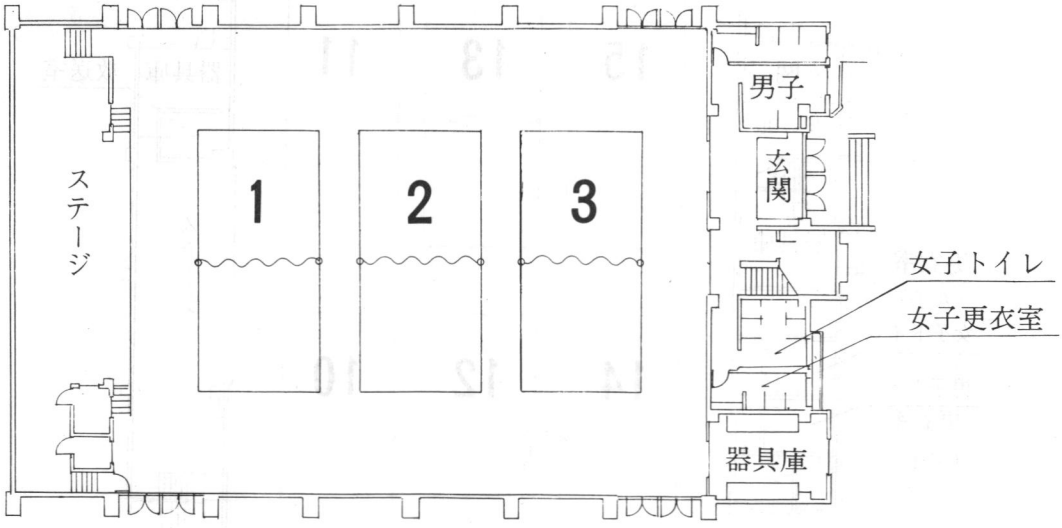
1 糸満市西崎総合体育館　２階



32	組み合せ掲示板
33	男子トイレ
34	女子トイレ
41	一般観覧者出入口（２階）
42	一般観覧者席

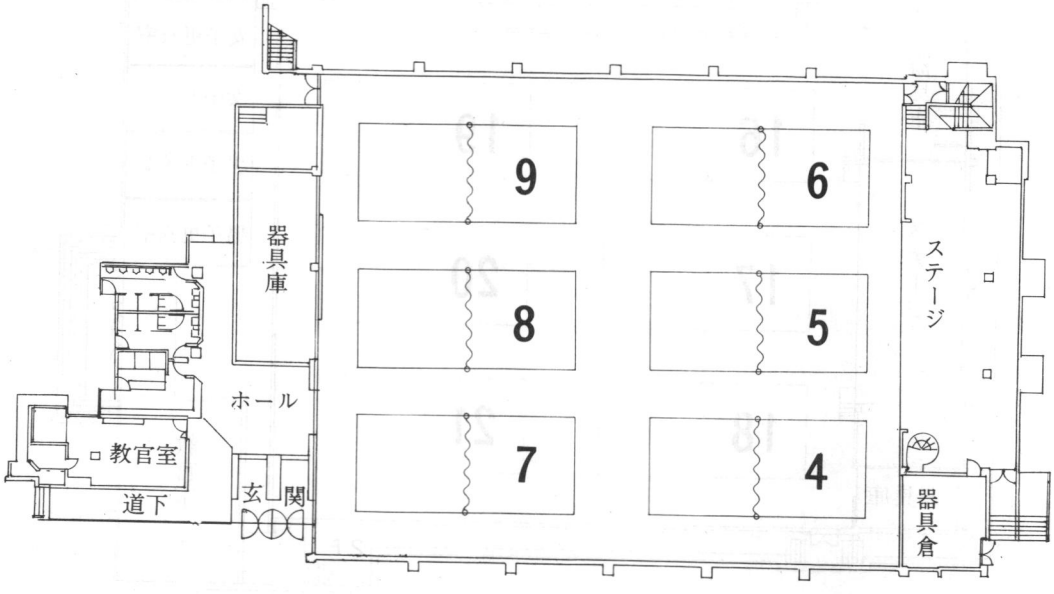
練　習　会　場

② 西崎小学校体育館



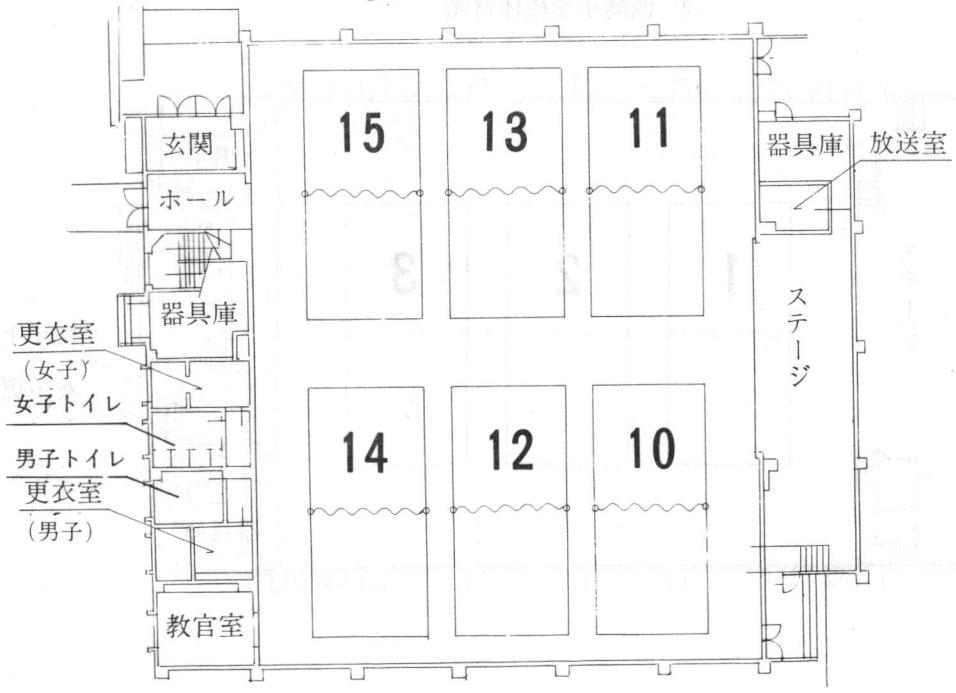
練　習　会　場

③ 県立沖縄水産高等学校体育館



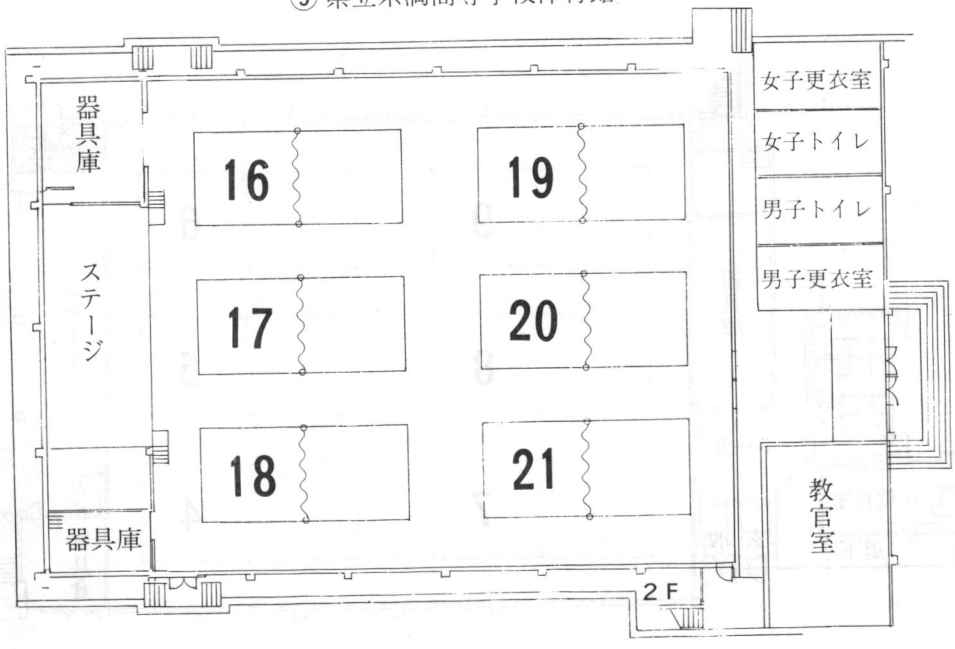
練　習　会　場

④ 西崎中学校体育館



練　習　会　場

⑤ 県立糸満高等学校体育館



（財）日本体育協会・文部省・都道府県本部宿舎一覧表

▼ 財団法人日本体育協会・文部省

団体名	宿舎名	所在地	電話		
			市外局番	局番	番号
(財)日本体育協会	沖縄ハーバービューホテル	那覇市泉崎２－46	0988	53	2111
文部省	〃	〃	〃	〃	〃

▼都道府県本部

No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話		
				市外局番	局番	番号
1	北海道	ホテルエッカ	那覇市天久1068−9	0988	68	3135
2	青森	〃	〃	〃	〃	〃
3	岩手	〃	〃	〃	〃	〃
4	宮城	〃	〃	〃	〃	〃
5	秋田	〃	〃	〃	〃	〃
6	山形	〃	〃	〃	〃	〃
7	福島	ホテルエッカアネックス	那覇市久茂地１－３－11	0988	61	1181
8	茨城	〃	〃	〃	〃	〃
9	栃木	ホテルエッカ	那覇市天久1068−9	0988	68	3135
10	群馬	〃	〃	〃	〃	〃
11	埼玉	〃	〃	〃	〃	〃
12	千葉	〃	〃	〃	〃	〃
13	東京	〃	〃	〃	〃	〃
14	神奈川	〃	〃	〃	〃	〃
15	山梨	〃	〃	〃	〃	〃
16	新潟	〃	〃	〃	〃	〃
17	長野	〃	〃	〃	〃	〃
18	富山	〃	〃	〃	〃	〃
19	石川	〃	〃	〃	〃	〃
20	福井	〃	〃	〃	〃	〃
21	静岡	〃	〃	〃	〃	〃
22	愛知	〃	〃	〃	〃	〃
23	三重	〃	〃	〃	〃	〃
24	岐阜	ホテルエッカアネックス	那覇市久茂地１－３－11	0988	61	1181
25	滋賀	ホテルエッカ	那覇市天久1068−9	0988	68	3135
26	京都	〃	〃	〃	〃	〃
27	大阪	ホテルニュー那覇	那覇市泉崎１−11−５	0988	66	0786

No.	都道府県名	宿舎名	所在地	電話		
				市外局番	局番	番号
28	兵庫	ホテルニュー那覇	那覇市泉崎１－11－５	0988	66	0786
29	奈良	〃	〃	〃	〃	〃
30	和歌山	〃	〃	〃	〃	〃
31	鳥取	ホテルエッカアネックス	那覇市久茂地１－３－11	0988	61	1181
32	島根	ホテルニュー那覇	那覇市泉崎１－11－５	0988	66	0786
33	岡山	〃	〃	〃	〃	〃
34	広島	〃	〃	〃	〃	〃
35	山口	〃	〃	〃	〃	〃
36	香川	〃	〃	〃	〃	〃
37	徳島	ホテルエッカアネックス	那覇市久茂地１－３－11	0988	61	1181
38	愛媛	ホテルニュー那覇	那覇市泉崎１－11－５	0988	66	0786
39	高知	〃	〃	〃	〃	〃
40	福岡	ホテルエッカアネックス	那覇市久茂地１－３－11	0988	61	1181
41	佐賀	〃	〃	〃	〃	〃
42	長崎	〃	〃	〃	〃	〃
43	熊本	〃	〃	〃	〃	〃
44	大分	〃	〃	〃	〃	〃
45	宮崎	〃	〃	〃	〃	〃
46	鹿児島	〃	〃	〃	〃	〃
47	沖縄	〃	〃	〃	〃	〃
48	海外選手団	ホテルサンマリン丸山	那覇市曙３－６－10	0988	61	2036

タクシー案内

市外局番　09899

糸満共同無線配車センター	５－０１１１
ラッキー交通	４－３３０６
共同無線タクシー（那覇市）	０９８８－６３－１５９１

役員・監督・選手宿舎一覧表

▼ 役　　員

団　体　名	宿　舎　名	宿舎番号	所　在　地	電話番号
競　技　役　員	沖縄不二ホテル	那　31	那覇市西１－６－４	68－1118

▼ 監　督・選　手

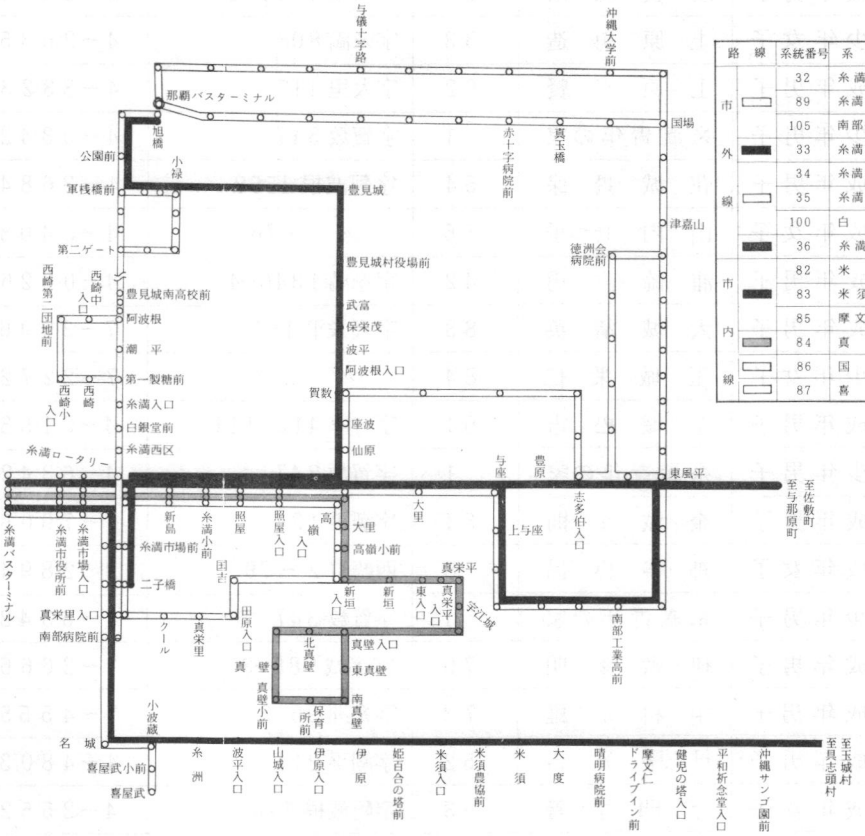
都道府県名		種　別	宿　舎　名	宿舎番号	所　在　地	電話番号
1	北海道	成年男子	下門壮安	50	字潮平183	4－2885
		成年女子	友利一彦	82	字真栄平1646	7－2736
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
		少年女子	宮城弘正	9	西崎町２－106	4－6095
2	青　森	成年男子	與崎利雄	28	字糸満219	4－2612
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
		少年女子	上原三郎	29	字糸満210	4－2185
3	岩　手	成年男子	新城安輝	5	西崎町３－10	4－6347
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
4	宮　城	成年男子	比嘉國夫	39	字糸満2266	2－2695
		少年女子	玉城雅夫	40	〃　1145	4－9360
5	秋　田	成年男子	大城仁輝	85	字新垣97	4－4975
6	山　形	成年男子	並里敏男	19	字兼城505－3	4－2682
		成年女子	金城　健	34	字糸満743	4－1375
7	福　島	成年男子	新垣徳成	71	字名城144	7－2124
		成年女子	大城雄洋	44	字照屋404	4－2605
8	茨　城	成年男子	仲宗根保栄	76	字米須326	7－3486
		少年女子	金城弘眞	17	西崎町１－163	4－7040
9	栃　木	成年男子	上原孝喜	6	西崎町３－371	2－5607
		少年女子	新垣秀子	81	字真壁241	7－4100
10	群　馬	成年男子	新垣　元	36	字糸満950	4－4494
11	埼　玉	成年男子	稲嶺盛基	37	〃　1435	4－3793
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
12	千　葉	成年男子	佐久間照男	74	字糸洲176－4	7－4645

都道府県名		種別	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
13	東京	成年男子	大城長盛	58	字座波636-1	4-6648
		成年女子	伊敷清昌	41	字糸満2034	2-3645
14	神奈川	成年男子	山城政治	79	字米須288	7-3585
15	山梨	成年男子	新垣榮蔵	69	字名城577-3	7-3420
		成年女子	上原榮四郎	24	字糸満2-17	4-3815
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
16	新潟	成年男子	大保武助	13	西崎町2-379	4-0330
		少年女子	大城健二	11	〃 2-308	4-2860
17	長野	成年男子	金城安秀	86	字新垣66	4-9169
18	富山	成年男子	前原晃太郎	15	西崎町2-464	4-7974
		成年女子	高山朝夫	46	字潮平398-58 D-16	4-6388
		少年女子	上原清次	47	〃 398-73 D-6	4-5228
19	石川	成年男子	仲宗根浩	23	字糸満2039-7	4-2822
		成年女子	玉城喜清	66	字真栄里16	4-0294
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
20	福井	成年男子	具志堅朝松	7	西崎町2-118	4-0464
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
21	静岡	成年男子	上原幸助	64	字大里325-1	4-2329
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
22	愛知	成年男子	上原謹三郎	16	西崎町1-137	2-4906
		成年女子	渡名喜孝	21	字兼城495-1	4-9740
		少年女子	長嶺菊枝	22	〃 513	4-5647
23	三重	成年男子	玉城清	38	字糸満919	4-2730
24	岐阜	成年男子	大城豊太	32	〃 389-2	4-2841
25	滋賀	成年男子	上原亀幸	27	〃 52	4-5950
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
		少年女子	與崎利巳	25	字糸満2054-11	4-5218
26	京都	成年男子	仲宗根秀勝	14	西崎町2-380	4-0550
27	大阪	成年男子	國吉昌博	12	〃 2-324	4-8595
		成年女子	佐藤充	48	字潮平105	4-9749
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4-6342
		少年女子	大城廣明	18	西崎町1-258	2-4782

都道府県名		種別	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
28	兵庫	成年男子	徳元初子	78	字米須256	7－3063
		成年女子	山城昭次郎	77	〃 101	7－2674
29	奈良	成年男子	伊敷泰男	60	字与座412-23	4－6610
30	和歌山	成年男子	大城清仁	45	字照屋1191-8	4－9118
31	鳥取	成年男子	上原慶徳	26	字糸満2050-11	4－2513
		成年女子	島根實	43	字照屋405	4－3598
32	島根	成年男子	玉城政和	63	字大里11－2	4－9813
33	岡山	成年男子	長嶺榮徳	30	字糸満209	4－4381
		成年女子	玉城利明	68	字真栄里249	2－5737
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
		少年女子	大城宜森	67	字真栄里246	5－0126
34	広島	成年男子	翁長謙治	75	字米須1064-2	7－3484
		少年女子	上原勇造	33	字糸満808	4－2635
35	山口	成年男子	上原幸賢	62	字大里117	4－8323
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
36	香川	成年男子	花城景保	54	字阿波根1558	4－3684
		成年女子	山内せつ子	56	〃 676	4－3408
37	徳島	成年男子	浦崎直勇	42	字糸満1346-4	4－0626
38	愛媛	成年男子	大城清英	83	字真栄平151	7－3096
		少年女子	玉城栄仁	84	〃 276	7－2272
39	高知	成年男子	金城松吉	61	字与座412-111	4－6153
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
40	福岡	成年男子	金城正則	51	字潮平124	4－7905
		成年女子	神谷良昌	8	西崎町2－79	2－2894
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
41	佐賀	成年男子	伊敷幸明	70	字名城588-3	7－2666
42	長崎	成年男子	中村幸雄	73	字糸洲96-2	7－4555
43	熊本	成年男子	具志堅光吉	52	字潮平211	4－4803
		成年女子	下門律善	53	字阿波根1207	4－2552
		少年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
		少年女子	百次仁平	49	字潮平141	4－3315
44	大分	成年男子	伊敷静子	59	字与座412-45	4－9687
		少年女子	古波倉正寛	80	字真壁203	7－3449

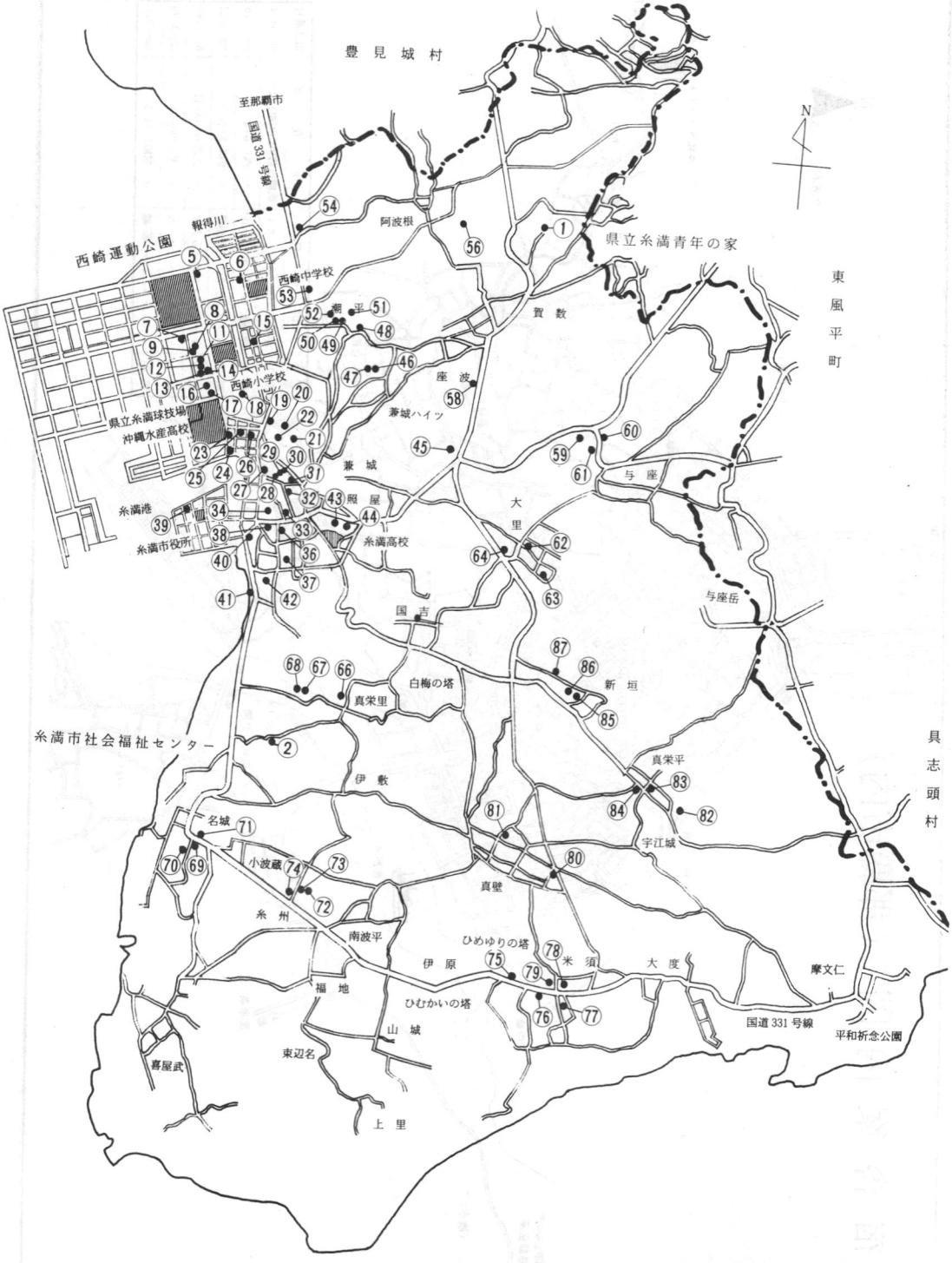
都道府県名		種別	宿舎名	宿舎番号	所在地	電話番号
45	宮崎	成年男子	仲里仁一	65	字国吉173	4－8777
46	鹿児島	成年男子	照屋良幸	72	字糸洲106	7－3437
47	沖縄	成年男子	糸満青年の家	1	字賀数347	4－6342
		成年女子	〃	1	〃	〃
		少年男子	〃	1	〃	〃
		少年女子	〃	1	〃	〃

既設路線バス案内図



路線		系統番号	系統名	運行間隔
市外線		32	糸満（高良）線	25～35分
		89	糸満（航空隊）線	5～10分
		105	南部病院折返し線	30～50分
		33	糸満（豊見城）線	10～20分
		34	糸満（東風平）線	14～40分
		35	糸満（志多伯）線	28～55分
		100	白川線	25～100分
		36	糸満～与那原線	10～90分
市内線		82	米須線	60分
		83	米須折返し線	120分
		85	摩文仁折返し線	2往復／日
		84	真壁線	30～70分
		86	国吉線	40～50分
		87	喜屋武線	120分

宿舎案内図（糸満市内）

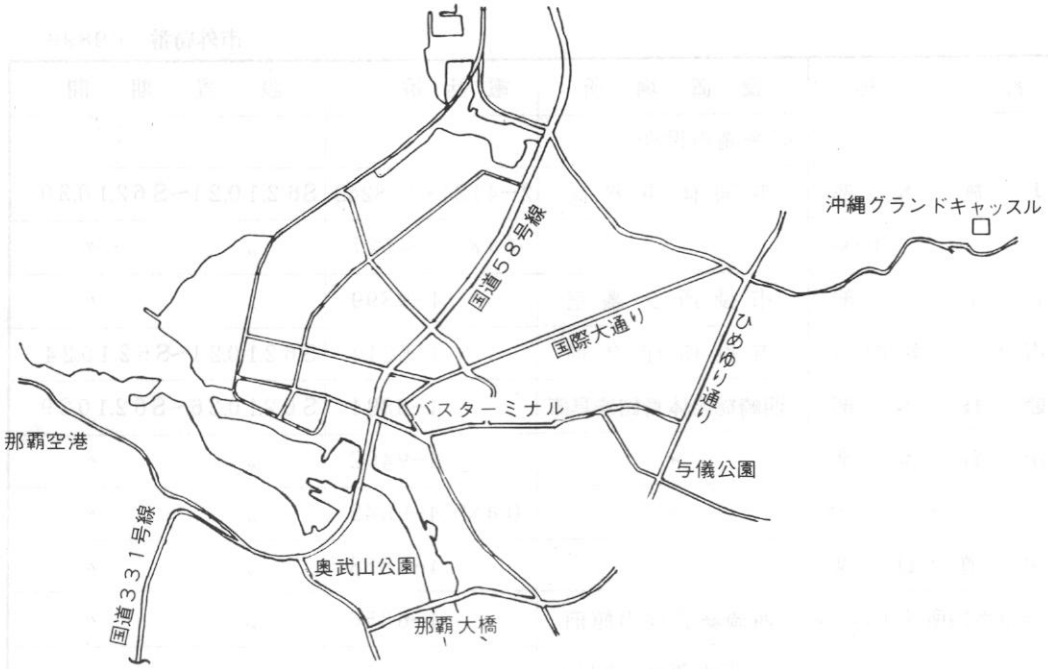

豊見城村
至那覇市
国道331号線
報得川
西崎運動公園
西崎中学校
西崎小学校
県立糸満球技場
沖縄水産高校
糸満港
糸満市役所
糸満高校
阿波根
県立糸満青年の家
東風平町
潮平
賀数
座波
兼城ハイツ
兼城
照屋
大里
与座
与座岳
国吉
白梅の塔
真栄里
糸満市社会福祉センター
伊敷
名城
小波蔵
糸州
南波平
ひめゆりの塔
伊原
米須
大度
真壁
宇江城
真栄平
新垣
具志頭村
摩文仁
国道331号線
平和祈念公園
福地
ひむかいの塔
山城
東辺名
喜屋武
上里
N

宿舎案内図（那覇市内）



宿舎番号	宿舎名	所在地	電話番号
那 78	沖縄グランドキャッスル	那覇市首里山川町1-132-1	86-5454
那 31	沖縄不二ホテル	〃 西1-6-4	68-1118
那 26	パシフィックホテル沖縄	〃 西3-5-1	68-5162
那 107	ホテルエッカアネックス	〃 久茂地1-3-11	61-1181
那 4	ホテルエッカ	〃 天久1068-9	68-3135
那 92	ホテルニュー那覇	〃 泉崎1-11-5	66-0786

糸満市交通案内図


沖縄グランドキャッスル
国道58号線
国際大通り
ひめゆり通り
バスターミナル
那覇空港
与儀公園
国道331号線
奥武山公園
那覇大橋


県立糸満青年の家
西崎中学校
西崎運動公園
西崎小学校
国道331号線
沖縄水産高校
糸満港
糸満市役所
糸満高校
糸満市社会福祉センター

競技会関係電話番号一覧表

市外局番　09899

名　　称	設　置　場　所	電　話　番　号	設　置　期　間
	＜糸満市役所＞		
実　施　本　部	市国体事務局	2−4121・4−8242	S62.10.21〜S62.10.30
〃　(fax)	〃	(fax) 4−4527	〃　〃
宿　泊　本　部	市役所会議室	4−9899	〃　〃
市役所案内所	市役所庁舎前	4−6211	S62.10.21〜S62.10.24
競　技　本　部	西崎総合体育館器具庫	4−6881	S62.10.26〜S62.10.29
記　録　本　部	〃	4−9402	〃　〃
〃　(fax)	〃	(fax) 4−9542	〃　〃
報　道　員　席	〃	4−6858	〃　〃
受付案内所（バドミントン）	西崎総合体育館前	4−6856	〃　〃
	＜西崎運動公園＞		
会　場　本　部	西崎運動公園内	4−6839	S62.10.26〜S62.10.29
練　習　会　場	西崎小学校体育館	2−2542	S62.10.24〜S62.10.29
〃	沖縄水産高校体育館	2−3243	〃　〃
〃	西崎中学校体育館	2−2543	〃　〃
〃	糸満高校体育館	2−3242	〃　〃
防災警備本部	西崎運動公園内	4−6850	S62.10.26〜S62.10.29
輸　送　本　部	運動公園メインゲート前	4−6855	〃　〃
総　合　案　内　所	運動公園メインゲート	4−6838	〃　〃

医 療 救 護 に つ い て

1. 傷病者が発生したとき

(1) 競技会場でケガ、発病したとき

ア 各競技会場には、救護所を設置し、医師・看護婦等を配置しております。

イ 救護所は、赤十字マーク及び立看板等でその所在を示しています。

ウ 救護所では、応急処置及び軽易な治療を行い、重症者については、医療機関に移送します。

(2) 練習会場等でケガ、発病したとき

練習会場等には、救護所は設置しておりませんが、救急薬品を備えてありますので係員にご連絡ください。

(3) 宿舎で発病したとき

宿舎では、最寄りの医療機関を紹介するか又は救急車を呼ぶことになっております。

2. 治療の受け方

(1) 競技会場でケガ、発病し、救護所からの移送により医療機関で治療を受けるときは、医療保険の被保険者証（以下「保険証」という。）を提示するとともに、救護所で交付された「受診依頼書」を医療機関に提示してください。

移送の場合は、監督等関係者の添乗をお願いします。

(2) 練習会場でケガ、発病し、医療機関で治療を受けるときは、保険証と練習会場で交付された「国体参加者証明書」を医療機関に提示してください。

(3) 宿舎においてケガ、発病し、医療機関で治療を受けるときは、保険証と宿舎で交付された「国体参加者証明書」を医療機関に提示してください。

3. 治療費の支払い方法について

救護所、救急車において要した費用を除く他の医療費は受診者負担ですので、必ず「保険証」を持参してください。保険証を提示しないで受診した場合は、医療費の全額が受診者の負担になります。

4. 医療機関

(1) 医療機関については、24時間体制で受診出来るよう救急医療機関を定めております。また、平日及び土曜日（診療時間内）については各医療機関が協力していただけることになっております。

(2) 競技会場及び宿舎等に医療機関一覧表を配布してあります。

5. 医療機関救護関係のお問い合わせは、下記にご連絡ください。

糸満市実施本部保険衛生部　TEL（09899）4−8242

国体関係救急取扱医療機関

医療機関名	所在地	電話番号	診療科目
沖縄県立南部病院	真栄里870	4－0501	総合
糸満市救急診療所	〃 851	4－1729	

歯科待機医療機関

（待機時間：午後10時まで）

月日	医療機関名	所在地	電話番号
10月24日（土）	大城歯科	字兼城505−1	4−7808 自宅 4−7809
25日（日）	西崎歯科クリニック	西崎町2−482	2−3434 自宅 2−30[illegible]
26日（月）	玉沢歯科	字糸満866−1	2−3841 自宅 2−3048
27日（火）	い歯科医院	字潮平606−1	4−0041
28日（水）	前川歯科医院	字糸満1017−2	4−2115
29日（木）	上原歯科クリニック	字糸満452	2−2888

（注）10月24日、25日、26日については午後7時頃までは各診療所に待機しておりますが、それ以降午後10時までは自宅待機になっておりますので、自宅に連絡してからお出かけ下さい。

診療科目凡例

内：内科　　泌：泌尿器科　　咽：咽喉科
外：外科　　産：産科　　精：精神科
児：小児科　　婦：婦人科　　神：神経科
整：整形外科　　眼：眼科　　胃：胃腸科
皮：皮膚科　　耳：耳鼻科　　歯：歯科

糸満市内医療機関一覧表

医　科

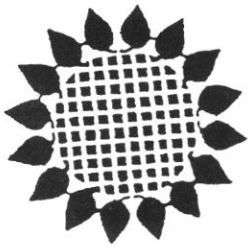
医療機関名	所在地	電話番号	診療科目
沖縄県立南部病院	真栄里870	4－0501	内・外・児・整・耳・咽・眼・皮 産・婦
沖縄偕生会診療所	真栄里342	2－2246	内・一般
松沢医院	糸満615	4－2123	内・児
玉城医院	〃　2098	2－2268	内・児
白銀病院	〃　2041－5	4－2582	婦・外・産・内・児・整・泌・胃
太田医院	〃　606	4－2050	外・内
永山産婦人科医院	〃　1502	2－5231	産・婦
糸満協同診療所	〃　2249	2－3920	内・児・外（土AM）
糸満クリニック	〃　2051－9	4－7831	外・内・整・胃・皮・泌
中島内科医院	西崎町2－448	4－6080	内
中島小児科医院	〃　2－448	4－6080	児
安里眼科クリニック	兼城594	4－1882	眼
糸満晴明病院	大度520	7－2011	精・神・内
勝連病院	真栄平1026	7－3104	精・神・内・医学療法
南山病院	賀数406－1	4－3660	精

歯　科

医療機関名	所在地	電話番号	休診日
玉沢歯科	糸満866－1	2－3841	日・祭休
上原歯科医院	〃　1005	4－2066	日・祭休
上原歯科クリニック	〃　452	2－2888	日・祭休
前川歯科医院	〃　1017－2	4－2115	日・祭休
大城歯科	兼城505－1	4－7808	日・祭休
西崎歯科クリニック	西崎町2－482	2－3434	木・祭休
い歯科医院	潮平606－1	4－0041	日・祭休
伊東歯科医院	糸満122	4－2741	日・祭休
柳生歯科医院	座波1243－1	4－3016	金・日・祭休
照屋歯科医院	照屋392－1	4－0900	水・日・祭休

競技別会場地一覧図


本部町
今帰仁村
大宜味村
国頭村
東村
金武町
石川市
具志川市
沖縄市
勝連町
北中城村
中城村
西原町
知念村
佐敷町
玉城村
与那原町
大里村
具志頭村
東風平町
糸満市
豊見城村
南風原町
那覇市
浦添市
宜野湾市
北谷町
読谷村
恩納村
名護市
嘉手納町
石垣市
平良市
上野村
■夏季大会　昭和62年９月20日～23日
□秋季大会　昭和62年10月25日～30日
〔　〕は公開競技。



ひまわりツアー

旅の心を大切に

心のかよう旅行案内

●海外・国内の団体及び個人旅行●
●航空・船舶切符の予約販売●
●修学旅行、コンベンションツアー●

旅行部

本社営業所　〒900　沖縄県那覇市久茂地１－１－30
☎０９８８－６７－０１６６(代)

那覇営業所　〒900　沖縄県那覇市泊１－６－３
☎０９８８－６４－１２１２(代)

中部営業所　〒904　沖縄県沖縄市園田１丁目１番16号
☎０９８９３－３－５１１１～３

浦添営業所　〒901-21　沖縄県浦添市城間2306－１
☎０９８８－７９－２５２５(代)

東京営業所　〒160　東京都新宿区新宿1-13-12中立ビル２Ｆ
☎０３－３４１－４７０１(代)

空港部

全日空那覇空港　〒901-01　那覇市鏡水３０６－１
地上業務請負　☎０９８８－５７－０５８５(代)

運輸大臣登録一般旅行業第４１３号・日本旅行業務協会正会員

株式会社 エアー沖縄

本店　那覇市久茂地１－１－30　電話（0988）67－0166・1414

スポーツ用品全般卸問屋

win Vi
Richard.
HATA
大　和
HARIMAYA
SPALDING

野球ユニホーム
スポーツウエアー
野球バット
野球グローブ
スポーツシューズ
野　球　用　品

NBA
● NBAバスケットボールウエアー

沖　縄　代　理　店

株式会社 **沖縄統合スポーツ**

代表取締役　吉　濱　朝　一

TEL. 0988(85)-9794(代)
所在地：那覇市首里末吉町3-60-1
(内間インター近く)

祝 海邦国体

高尾歯科医院

高尾正英

〒814-01
TEL (092) 851-8518
福岡市早良区原5丁目15番12号

各種　各種スポーツ用品・トロフィー・たて・テント

SSK
セノー 代理店 **三和スポーツ店**

糸満市・沖縄相互銀行向い ☎4−4473

PRO KENNEX
PRESENTED BY GOSEN

チャンピオンシップ・フェイス'87

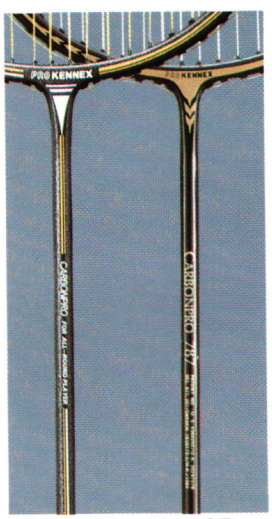
チャンピオンシップ・ポイント。
それはたんなるマッチポイントではない。
優勝に王手をかけた、チャンプにもっとも近い
プレイヤーだけが体験できる至高のポイントだ。
スィー・ユー、24歳。いまもっともチャンプに近い一人。
プロケネックスの名品 CARBON PRO 787/787L 同様、
'87年のチャンピオンシップ・ポイントを体験できる
最短距離にいる。

RB-787/787L
CARBON PRO 787/787L

- 素材／ハイモジュラスカーボン（ジョイントレス）
- 価格／¥9,900（フレーム価格／カバー付）

ハイモジュラス（高密度）カーボン採用。ジョイントレス構造で比類のないレスポンスを実現。

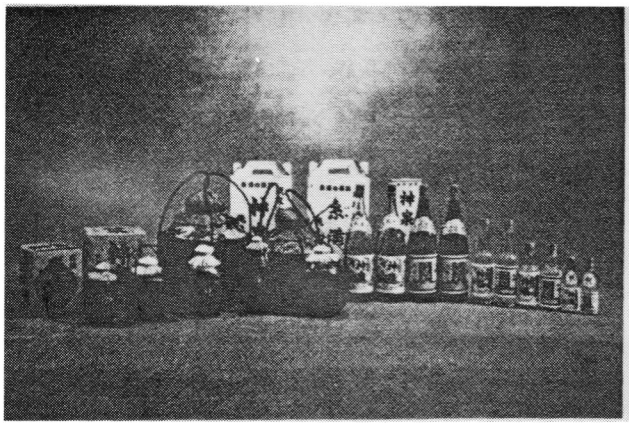
RB-787LP
ピンク



RB-787LG
ゴールド

RB-787

株式会社ゴーセン ●本社〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5871㈹ ●東京支店☎(03)862-6576㈹ ●福岡営業所☎(092)712-5247㈹ ●北陸営業所☎(0762)91-0223㈹





琉球
泡盛

※ストレートでも飲める
「ぐんじょう」
ライトタイプ20度

「群青（ぐんじょう）」「神泉（しんせん）」

上原酒造所

座波1062（兼城小学校通り）☎4-6320

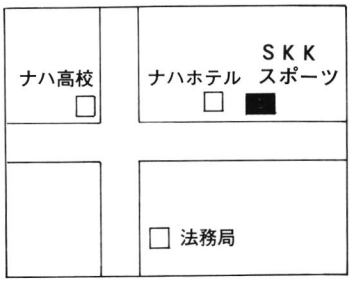
沖縄県入札指定業者
那覇市教育委員会入札指定業者

運動用品全般

Mizuno SSK

SKKスポーツ社

電話 63-8382



那覇市松尾2－17－36

みなさまの信販会社

大同信販

◇ご融資／1～50万円(審査有)
◇利息／実質年率36.5～54.75%
◇遅延損害金／実質年率と同率
◇ご返済／元利均等払3年36回
◇必要書類／健保証、身分証等
◇保証人、担保不要

那覇市久茂地3－11－4
☎(0988)63-8382

まるみ弁当

市民の真心で62年海邦国体を成功させよう。

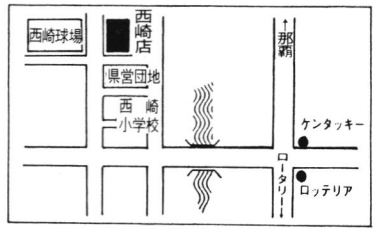
まるみレストラン

和洋食・にぎり・折詰・弁当
仕出し・オードブル・鍋料理
御宴会承ります。

代表者　翁　長　茂　男

TEL本　店09899-4-7011

西崎店09899-4-6433





糸満印刷

代表者　玉　城　利　明

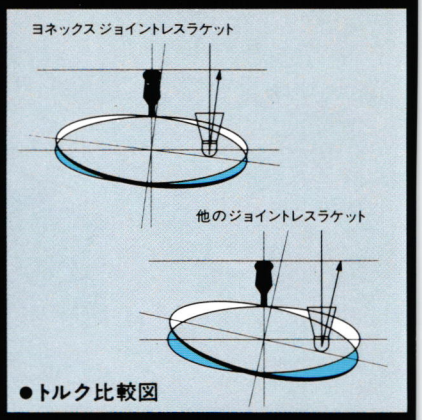
☎ (09899) 2-2950

5444

糸満市字糸満２０８２（市役所前）

またここに、世界特許T型ジョイントを内蔵し、なかからハイパワーを引き出します。凄いことはいつもヨネックスから。

高密度設計といわれる100%高弾性カーボンを使用したCAB-20。そして高弾性カーボンとグラスファイバーを採用したCAB-18。共通していることは、世界から注目されているヨネックス独自のT型ジョイント内蔵ということです。この技術のなによりの特長は、かってないほど最小限にラケットのトルクを押え、ラケット面を安定させ、そのうえ広いスウィートスポットが得られるというもの。ちなみに、他のジョイントレスラケットに比べると、CAB-20はなんと38%、CAB-18は25%もフレームのねじれ(トルク)をきっちり押えてあります。つまりこの違いが、他に類を見ない強烈なスイングパワーと安定したコントロール性を生み出します。これぞヨネックスならではの技術です。今、ジョイントレスラケットは新しい、とはいえ真のジョイントレスラケットはどれかといえば、まさにこのシリーズ。世界一流プレイヤーからはもちろん、バドミントンをされるすべての方から、熱い視線を浴びる理由は、ここにあり。



●トルク比較図



CAB-20
色/マリンブルー・セピア
カーボネックス20
フレーム・ケース付
100%高弾性カーボン(高密度設計)
¥16,000

CAB-18
色/シルバー・ゴールド
カーボネックス18
フレーム・ケース付
高弾性カーボン+グラスファイバー
¥13,000

BUILT-IN T-JOINT(内蔵T型ジョイント)
PAT. No./アメリカ:4575084 ベルギー:900154 南アフリカ:84/5176
特許・実用新案申請中/日本、イギリス、インドネシア他世界12ヶ国



ここが違う。だんぜん違う。

YONEX

がんばれおきなわ！

62年海邦国体
私たちも応援します。



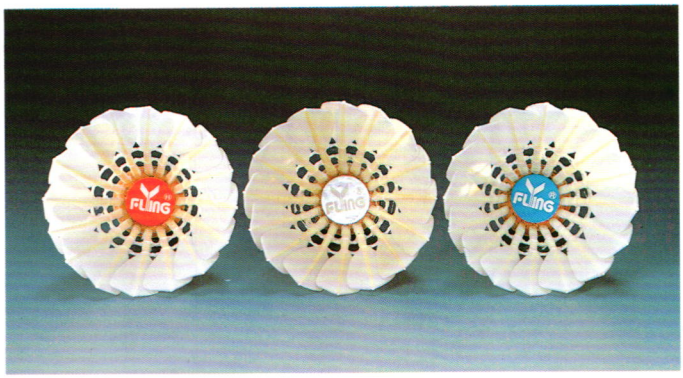
各種ユニフォーム、記念品、景品のご用命は
デパート・リウボウ 外商課へ…

郷土のデパート
リウボウ

〒900 沖縄県那覇市松尾1-1-2
TEL.(0988)67-1171
FAX.(0988)66-0108

より良く★より安く

“フライング”は頂点を目指します



レッドラベル
日本バドミントン協会
検定合格球
1ダース定価
¥2,950

ブルーラベル
練習球
1ダース定価
¥2,400

シルバーラベル
日本バドミントン協会
検定合格球
1ダース定価
¥3,900

●「シャトルは高い」悩みを解消

検定球は1ダース2,950円。練習球は1ダース2,400円。この価格をあなたはどう思われますか。

●「安かろう，悪かろう」は迷信

インターハイ，全日本教職員大会，全日本家庭婦人大会……等々から都道府県市町村の大会まで，昨年も“フライング・レッド”を公式使用球とした大会は数え切れません。

●練習に使うクラブは増加の一途

申し込み者数は1,000を超えました。毎月購入される“フライング・ファン”の方も，年間200ダース以上使うクラブも沢山あります。



サがつくフットワーク チャンピオン シャトルシューズ

一度あなたの足で確かめてほしい数々の特徴

●足と呼吸ピッタリの新型ラスト(足型)

何の違和感もなく，どんなフットワークにもついていく画期的なラストを開発しました。



人工皮革×メッシュ生地使用
サイズ／21.5～28.0cm
¥5,300
製造／釣鐘工業(株)

●バックステップに強いヒップベルト付き

バドミントンで重要なバックステップ時のフィット性をより良くするために採用しました。

●足への負担を抑えたベンド能力向上

ソール及びハトメ部分をよりソフトによりしなやかにすることにより実現しました。

●コートにマッチしたアウトソールパターン

吸盤と円筒形突起物をミックスした接地面(製品特許)により，高いショック吸収と同時にあらゆる方向に対してのストップ&ダッシュを的確にしました。



インタバル，ハーフタイムの主役

(読売ジャイアンツ愛用中)

S&B フレッシュO2



4本セット価格
¥10,000

スポーツ健康管理が話題となっています。“試合中のベンチ，コートサイドに携帯用酸素(O_2)を常備しておくべき……”との声が大きくなりつつあります。疲労回復，体調維持，気分転換，健康管理などにお役立てください。

4大“イカ”が魅力です

濃“イ”(空気中のO_2の4.5倍で95%純酸素)
多“イ”(内容量の多さ=10ℓ=が自慢です)
長“イ”(4～5分連続して使える強い味方です)
軽“イ”(ラクラク運べる180ｇ)

はがきまたは電話でお申し込みください

《お申し込み方法》種類・数量・団体名・申し込み責任者名・送付先・Tel・代金支払い方法を明記の上，下記あてハガキまたは電話にてお申し込みください。即日発送手配いたします。なお，ご注文は10ダース以上でお願いします（送料当社負担)。

《お支払い方法》次の二通りのうち，ご都合のよい方法をお選びください。
①代金一括後払い／後日お送りする振替用紙にて払い込んでください（送金料当社負担)
②代金引き換え払い／商品着荷時にお支払いください。

●全国に広がる電話受注ネットワーク

学研“フライングシャトル”センター東京本部 03-490-1771

●北海道地区011-222-3932 ●東海甲信越地区052-775-7151 ●中国四国地区0878-31-4134
●東北地区0222-67-0511 ●関西地区 06-361-9205 ●九州地区092-474-4552

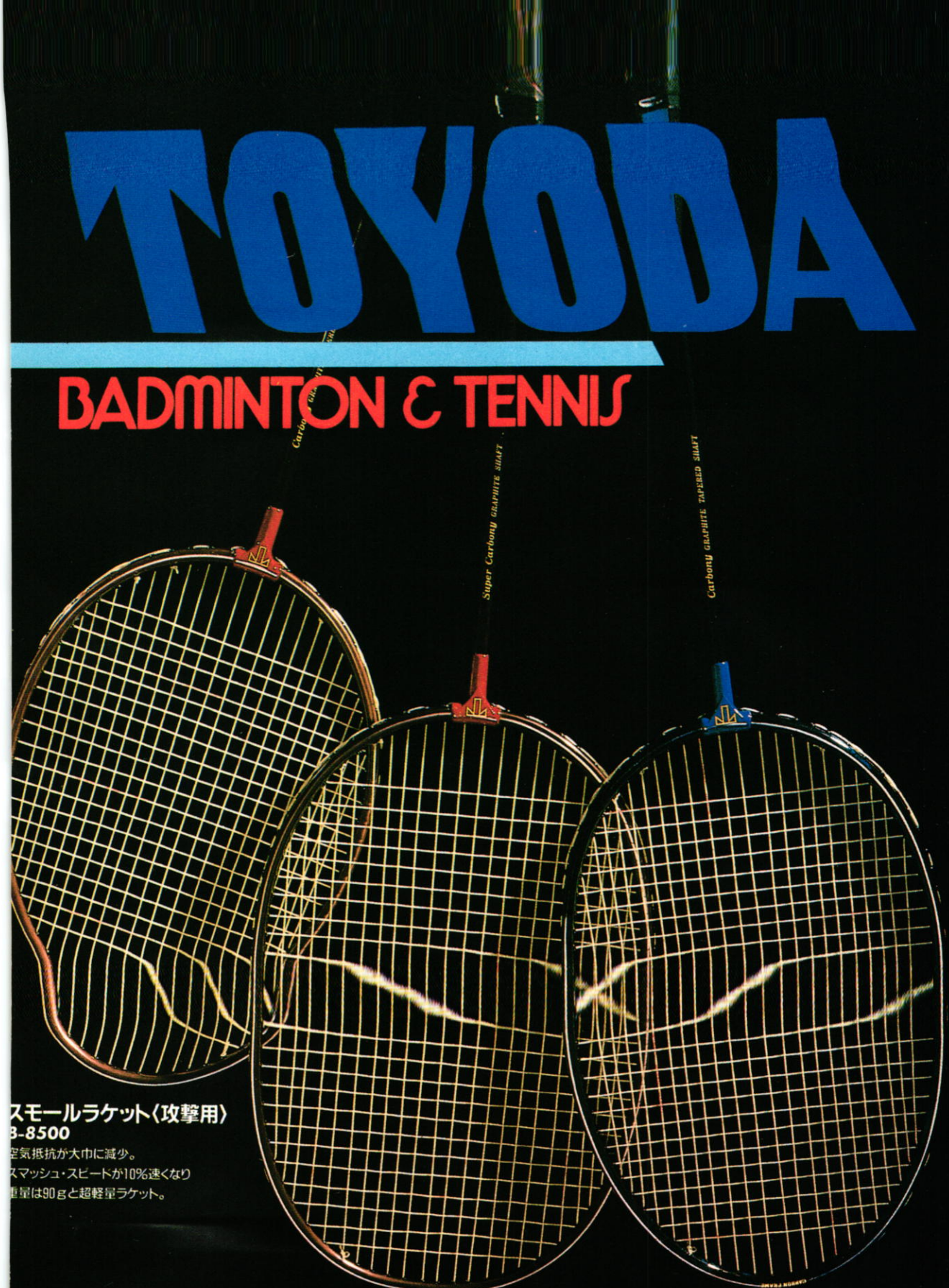
(受付時間：東京本部＝年中無休9時～21時。その外の地区＝日曜・祝日を除く9時～18時)

総合問い合わせ先
学研“フライングシャトル”センター
〒145 東京都大田区上池台4-40-5 TEL 03-726-8303
学研

A-1201

TOYODA

BADMINTON & TENNIS



スモールラケット〈攻撃用〉
B-8500
空気抵抗が大巾に減少。
スマッシュ・スピードが10%速くなり
重量は90gと超軽量ラケット。

セミ・ラージラケット
B-8800
時代が創りだしたマックスパワーは、従来のラケットをはるかに超えたスイートスポットの広さ、打球時の瞬発力など、手応え充分なスーパーラケットです。

7色のカラーを選択できる
オーダーメイドラケット
カーボンマックス。
B-9000

優良バドミントン用総合メーカー
株式会社 トヨダスポーツ
■本社　東京都墨田区大平1-10-4 TEL. 03-621-0722代・621-0723 FAX.624-5385

